CONTENTS

CHAPTER 4 ご利用に関して 43

CHAPTER 5 サポートセンター 85

ご使用になる前に必ずお読みください

■ パソコンの設置及び動作使用環境について

・本機の使用環境は、温度 10℃～ 35℃、湿度 8% ～ 80%を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。

・本機の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、パソコン内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。

・本機には、落雷等による電源の瞬停（電圧低下）に対する保護機能は搭載されておりません。これを防ぐ手段として、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることを推奨いたします。

・本機は、日本国内でのみご使用ください。

■ ハードディスク（HDD）について

・ハードディスクは、一般的に消耗部品となっております。重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。

・ハードディスクに保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であっても弊社は保証いたしません。

・ハードディスクは、衝撃、振動、温度等の影響を受けやすい部品です。起動した状態で衝撃、振動を与えないでください。

■ 著作権・商標について

・著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本機を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。

・著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。

・権利者の許諾を得ることなく、本機に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することはすることは、著作権法上禁止されております。

・Microsoft、Windows、Windows7 は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記しておりません。

CHAPTER 1

はじめに

安全上の注意

製品を安全にお使いいただくための項目を記載しています。

チェックポイント
- ☑ 安全上の注意を守る
- ☑ 万一異常が発生したらサポートセンターに連絡する

記載内容を守っていただけない場合どの程度影響があるかを表しています。

警告 人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

一般禁止
その行為を禁止します。

火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。

ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

本体使用上の警告

警告

■ 煙や異臭・異常な音・手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・やけど・感電の恐れがあります。

■ 雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類 (電源コード、USB ケーブルなど) に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。

落雷による感電の恐れがあります。

■ ビニール袋などの梱包材料はお子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。

窒息事故などを起こす恐れがあります。

■ 不安定な場所に置かないでください。

転倒・落下等によりけがをする恐れがあります。

■ 本機を改造・分解しないでください。

感電・発煙・発火の原因になります。

■ 本製品を火中に投入・加熱あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発熱・発火・破裂の原因になります。

■ 本製品の内部に次のような異物を入れないでください。

・金属物

・水などの液体

・燃えやすい物質

・薬品

回路がショートして火災の原因になります。

■ 装置の通気口をふさがないでください。

内部に熱がこもり発煙・発火の原因となることがあります。

電源・電源コード使用上の警告

警告

■ 電源は AC100V (50/60Hz) を使用してください。
異なる電圧で使用すると感電・発煙・火災の原因になります。

■ 電源コードを取り扱う際は次の点をお守りください。
・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
・つけ根の部分を無理に曲げない
・重いものを載せない
・布などでくるまない
・屋外で使用しない
・水などの液体がかかる場所で使用しない
発煙・発火・火災・感電の原因になります。

■ 破損した電源コードは使用しないでください。
電源コードが破損した場合、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。

■ 電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態で本機を使用しないでください。
火災の原因になります。

■ 電源コードは装置添付のものを使用し、そのプラグを壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。
延長コード等は使用方法によっては発煙・発火・火災・感電の原因となることがありますので十分ご注意ください。

■ タコ足配線にしないでください。
電源コードをタコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災の原因になります。

■ 長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。
絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

本体使用上の注意

注意

■ 本製品を次のような場所で使用・保管しないでください。

・風呂場など湿気の多い場所

・料理台や加湿器のそばなど水・湿気・湯気・塵・油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一製品に液体がかかった場合は、電源をオフにしてサポートセンターにお問い合わせください。乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。

■ 光学ドライブのトレイが出た状態で使用する場合は、十分に注意してください。

光学ドライブのトレイに強くぶつかったり、手や足をひっかけたりすると、けがや破損の原因になります。

■ 光学ドライブは絶対に分解しないでください。

故障・発熱・破損・感電の原因になります。

■ 光学ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。

目の痛みなど障害を起こす可能性があります。

■ 添付の CD-ROM・DVD-ROM ディスクは、CD-ROM・DVD-ROM 対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーや CD-ROM・DVD-ROM ディスクを破損する原因になります。

■ 液晶モニタ表面に傷をつけないでください。

■ 液晶モニタの表面や外枠部分を強く押さないでください。

■ 光センサーマウスの底面の光を直接見ないでください。

目の痛みなど障害を起こす恐れがあります。

電源・電源コード使用上の注意

注意

■ ぬれた手で触らないでください。
電源コードが接続されているときにぬれた手で触ると、感電の原因になります。

■ お手入れの前には必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

健康上の注意

注意

■ モニタを長時間継続して見ないでください。
■ キーボードやマウスを長時間継続して使用しないでください。
目の疲れ・視力低下・腕や手首が痛くなることがあります。身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師に相談してください。

■ ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。
大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ ヘッドフォンやヘッドフォンマイクを装着した状態でプラグの抜き差し、本機の電源のオン・オフ、省電力状態・復帰の操作をしないでください。
聴力に悪い影響を与えることがあります。

本機取り扱い上の注意

■ 次のような場所では、使用・保管しないでください。

ホコリが多い場所・衝撃や振動が加わる場所・不安定な場所・暖房器具の近く・磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカー、温風式こたつなど）の近く・長時間直射日光が当たる場所・落下の可能性がある場所・テレビ・ラジオ・コードレス電話などの近く・熱のこもる場所・水分や湿気の多い場所・夏の閉めきった自動車内

誤動作や故障の原因となることがあります。

■ 次の環境で使用してください。

温度 10℃～ 35℃、湿度 8%～ 80%（結露しないこと）

■ 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

・平らで十分な強度がある場所で使用してください。
・結露した状態で使用しないでください。誤動作・故障の原因になります。
・本機の上にものを載せないでください。また、通気口をふさがないでください。
・本機のそばで飲食や喫煙をしないでください。
・本機を改造しないでください。当社の保証やサービス対象外になることがあります。
・先のとがったもので傷をつけないでください。
・ハードディスク・DVD・CD などにデータの記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
・静電気に注意してください。本機は静電気によって故障・破損することがあります。
・電源を入れたまま本機を動かさないでください。
・付属の AC ケーブルは本製品以外に使用しないでください。
・PC 本体を膝の上・布製品の上などにおいて使用しないでください 。

■ DVD、CD ディスクを取り扱う際は、次のことに気をつけてください。

・データ面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
・先のとがったものでディスクに傷をつけないでください。
・上に重いものを載せる・曲げる・落とすなどしないでください。
・汚れたディスクは使わないでください。
・ディスクが汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。
・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
・使わないときは収納箱（または袋）に入れて保管してください。
・直射日光の当たる場所や温度の高い場所に保管しないでください。

バッテリーパックに関する注意（ノートパソコンのみ）

■ バッテリーパックは指定の方法以外で充電しないでください。
マニュアルに記述されている指定方法にて充電してください。
指定以外の方法で充電すると発熱・発火・液漏れすることがあります。
端子ショート・水漏れ・高温環境での放置等は故障の原因となりますので避けてください。

■ バッテリーパックは火の中に入れないでください。
火の中に入れたり加熱したりすると爆発・破裂したりすることがあります。

■ バッテリーパックに衝撃を与えないでください。
衝撃を与えると破裂・液漏れすることがあります。

■ バッテリーパックを分解・改造しないでください。
分解・改造すると、破裂・液漏れすることがあります。
パソコンメーカ指定以外のバッテリーパックや分解・改造したもの（パソコンメーカでの修理対応を除く）は、安全性や製品に関する保証はできません。

■ バッテリーパックは消耗品です。
バッテリー駆動時間が短くなってきた場合は、新しいバッテリーに交換が必要となります。バッテリーパックの交換に関しては、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

無線 LAN について（ノートパソコンのみ）

■ 本製品は 2.4GHz 帯を使用しています。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品ご使用前に、お近くで他の無線局が運用されていない事をご確認ください。

2 万一本製品と他の無線局の間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のご使用場所・時間を変更して頂くか、電波の発信を止めてください。

3 その他ご不明な点ございましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

■ 2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式及び OFDM 変調方式を採用し、干渉距離は 40m です。

CHAPTER 2

起動と終了

SECTION 1

起動の方法

電源の入れ方を説明しています。

チェックポイント ☑ パソコン本体の電源は最後に入れる

電源を入れる（デスクトップパソコン）

step 1 モニタの電源を入れます。

電源ボタンを押します。

step 2 パソコン本体の電源を入れます。

電源ボタンを押します。

注意

ファーストステップガイドご確認の上、予め各種ケーブルの接続を行ってください。

注意

製品によって数種類のモニタケーブルが付属している場合がありますが、接続する際には 1 種類のケーブルのみで接続してください。2 種類以上のケーブルを同時に接続して使用すると、画面が映らない場合があります。

ワンポイント

電源ボタンの位置はモニタ付属のマニュアルでご確認ください。

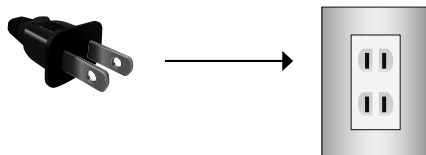
注意

図は LUVMACHINES シリーズです。その他の製品の電源ボタンの位置につきましては、同梱のファーストステップガイドをご確認ください。

電源を入れる（ノートパソコン）

step 1 AC アダプタの DC アウト端子を本体に接続します。

step 2 電源コードを AC アダプタに差し込みます。

step 3 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

step 4 電源ボタンを押します。

注意

バッテリー駆動で使用する場合、「step1」から「step3」までの作業は不要です。

ワンポイント

ノートパソコンの形状・デザイン、AC アダプタの大きさは製品によって異なります。

注意

壁のコンセントから直接電源を取るようにしてください。

ワンポイント

AC 電源を使用する場合は 1 秒ほど、バッテリー駆動で使用する場合は 2 秒ほど長押ししてください。

SECTION 2

初回設定

Windows7 がインストールされているパソコンで、最初に行う設定の方法を説明しています。

チェックポイント
- ☑ 初めて電源を投入した時に行う
- ☑ デスクトップ上に「サプリメントディスク　バックアップ」のアイコンが存在する場合、バックアップをとる。

Windows7 インストールモデルでは、電源を投入すると Windows7 の初回設定が行われます。暫くは黒い画面での自動作業が行われますので、パソコンに触れずにお待ちください。下の画面に変わったら、操作を開始してください。

初回設定の手順

step 1 地域情報・キーボードレイアウトを設定します。

1 「日本」の設定になっていることを確認します。

2 「Microsoft IME」になっていることを確認します。

3 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

地域設定・キーボードレイアウトについて

Windows7 動作上の言語などを設定します。通常、表示されたままの状態で進行していただくことで、日本語でご使用いただけます。

step 2 ユーザー名とコンピューター名を入力します。

1 「ユーザー名」を入力します。

2 「コンピューター」を入力します。

3 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

ユーザー名

Windows7 上で、個人を示す登録名です。お気に入り・ライブラリ等、個人別のデータはユーザー名の管理下に保存されます。

コンピューター名

Windows7 上で、主に複数台のパソコンをネットワークで接続した際に、識別するための登録名です。特別設定をしない場合には、初期の名称のまま変更の必要はありません。

step 3 パスワードを入力します。

パスワードを忘れてログイン出来なくなった場合、Windows7 の再インストールが必要になります。

step 4 プロダクトキーを入力します。

Windows7 を正式に使用する為の鍵となる文字列です。OS インストールモデルの場合、デスクトップは本体左面に、ノートは本体底面に貼付されています。

step 5 コンピューターの保護設定を行います。

ワンポイント

パスワード

Windows7 にログインする時に入力する認証文字列です。半角英数字のみ登録可能です。未設定でご使用可能ですが、不特定多数のユーザーが使用出来ないようにパスワードの設定を行って下さい。

パスワードのヒント

パスワードを忘れた時に、ログイン画面に表示されるヒントを入力します。尚、パスワード設定時は入力必須となります。

ワンポイント

プロダクトキーの入力について

プロダクトキー入力時には誤った登録を行わない様、特に間違い易い文字については予め入力出来ない様になっており、故障ではございません。

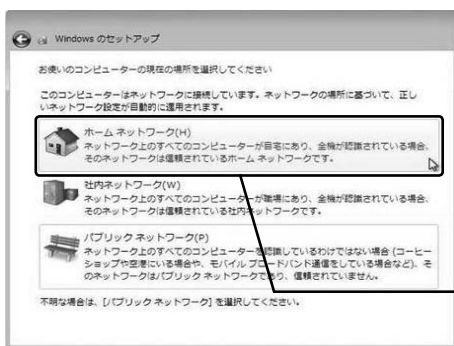
入力出来ない文字に関してはプロダクトキー内でも使用されておりませんので、入力している文字が表示されない場合には、プロダクトキーを見直してください。

尚、プロダクトキーの入力画面は表示されない場合は、変わりにライセンス認証の画面が表示されます。

step 6 日付と時間の設定を行います。

1 現在の設定になっているか確認します。

2 「次へ」をクリックします。

step 7 コンピューターの設置場所を選択します。

「ホームネットワーク」をクリックします。

step 8 Windows7 が起動します。

Windows7 が起動します。「step4」でプロダクトキーの入力画面が表示されなかった場合、弊社指定の壁紙が表示されます。

ワンポイント

日付と時刻の設定

パソコン内部の時計の設定を行います。通常は設定の変更はありません。また、Windows7 のデスクトップ上でも設定の変更は可能です。

サプリメントディスクのバックアップについて

OS プリインストールモデルにおいて、各種ハードウェアのドライバソフトを「サプリメントディスク」という名称にてハードディスク上にプリインストールしているモデルがあります。サプリメントディスクは、OS 再インストールを行った際に製品の性能を最適化する上で必要になりますので、事前に以下の方法にてバックアップを行っていただきますよう、お願い申し上げます。尚、バックアップには DVD−R（1 層）が 1 枚必要となります。

●サプリメントディスクのバックアップ方法

デスクトップ上にある「サプリメントディスク　バックアップ」のアイコンをダブルクリックし、表示される画面の指示に従って作業を行ってください。

なお、バックアップ前に OS の再インストールを施行いただいた・上記方法にてバックアップを作成出来ない等の場合には、サポートセンターにて郵送でのメディア配送サービスを受けつけております。ご希望の際には、弊社サポートセンター窓口までご連絡ください。

サプリメントディスクとは

サプリメントディスクは、本製品搭載の各種ハードウェアの性能を最適に発揮する為のドライバ、及びアンチウィルスソフトなどの各種ソフトウェアが搭載されたディスクです。OS 再インストールを行っていただいた際にこのディスクをお使いいただくことにより、パソコンをご購入いただいた直後の状態に復元することが可能になります。

尚、サプリメントディスクが別途付属している製品は、こちらのアイコンがデスクトップにございません。また、OS のメディアが付属しないハードディスクリカバリモデルの場合には、リカバリ情報の中にサプリメントディスクの内容が含まれている為、バックアップを行う事はできません。

SECTION 3

終了の方法

電源の切り方を説明しています。

チェックポイント ☑ スタートボタンから電源を切る

電源を切る

step 1 スタートボタンをクリックします。

「スタート」ボタンをクリックします。

step 2 シャットダウンをクリックします。

「シャットダウン」をクリックします。

ワンポイント

キーボードの「Windows キー」を押した場合も同じ動作をします。

step 3 モニタの電源を切ります。(デスクトップパソコンのみ)

電源ボタンを押します。

スリープにする

step 1 スタートボタンをクリックします。

「スタート」ボタンをクリックします。

step 2 電源マークのボタンをクリックします。

1 ▶ をクリックします。

2 「スリープ」をクリックします。

ワンポイント

パソコン本体の電源ボタンを押すと再開できます。また、機種によってはキーボードの任意のキーを押すか、マウスを操作することでスリープ状態を解除できる場合もあります。

CHAPTER 3

各デバイスの動作

SECTION 1

キーボード

キーボードの各部名称と機能を説明しています。

チェックポイント ☑ 各キーの役割を確認する

外観

注意

製品によって形状や、キー配置が異なります。

各部の名称と機能

1 Esc（エスケープ）キー

設定の取り消しや、実行を中止するときに使用します。

2 ファンクションキー

アプリケーションや OS によって機能を割り当てることができます。

～
3 Prt Scr（プリントスクリーン）キー

画面のハードコピーを取るときに使用します。

Scroll Lock（スクロールロック）キー

画面のスクロールをロックするときに使用します。

Pause/Break（ポーズ / ブレイク）キー

操作を一時的に止めるときに使用します。

Pause Break

CHAPTER 1 2 3 4 5 各デバイスの動作

4

NumLock ランプ

NumLock 有効時、点灯します。

CapsLock ランプ

CapsLock 有効時、点灯します。

ScrollLock ランプ

ScrollLock 有効時、点灯します。

5

テンキー

NumLock キーを押し機能を有効にすることで数字キーとして使用することができます。

Num-Lock キーがオフの状態ではカーソルキーやHome・End・PageUp・PageDown キーと同様の動作をします。

6

Insert（インサート）キー

文字の挿入 / 上書きを切り替えるときに使用します。

Delete（デリート）キー

カーソル直後の文字を削除します。

Home（ホーム）キー

カーソルを行の最初や文書の最初に移動させるときに使用します。

End（エンド）キー

カーソルを行の最後や文書の最後に移動させるときに使用します。

PageUp（ページアップ）キー

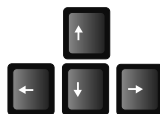
前のページに切り替えるときに使用します。

PageDown（ページダウン）キー

次のページに切り替えるときに使用します。

7

カーソルキー

カーソルを移動させるときなどに使用します。

8 特殊キー / 文字入力キー

1 半角 / 全角キー

日本語入力機能のオン・オフを切り替えます。

2 Tab キー

次の項目へカーソルを移動させます。【Shift】キーを押しながら【Tab】キー (Shift+Tab) を押すと、一つ前の項目へカーソルが移動します。文字入力時に押すと「タブ」が挿入され、カーソルが右へ移動します。

3 Caps Lock (キャプスロック) キー

入力する英字の大文字・小文字を切り替えます。【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キー (Shift+Caps Lock) を押すと、Caps Lock がオンになり、キーボード右上のランプが点灯します。解除するには同様の操作を行います。

4 Shift (シフト) キー

【Shift】キーを押しながら英字を入力すると、大文字・小文字が反転します。他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

5 Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

6 Windows (ウィンドウズ) キー

Windows 上の「スタートボタン」を押したときと同様の動作をします。また、他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

CHAPTER 1 2 3 4 5 各デバイスの動作

⑦ Alt (オルト) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

⑧ スペースキー

空白の挿入や、文字変換などに使用します。

⑨ カタカナ / ひらがなキー

【Alt】キーを押しながら【カタカナ / ひらがな】キー (Alt+ カタカナ / ひらがな) を押すと、「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えることができます。

⑩ アプリケーションキー

マウスの右クリックに該当する機能があります。使用するアプリケーションにより動作は異なります。

⑪ Back Space (バックスペース) キー

カーソルの直前の文字を削除します。

⑫ Enter (エンター) キー

設定の決定や、アプリケーションの実行などに使用します。

⑬ 文字入力キー

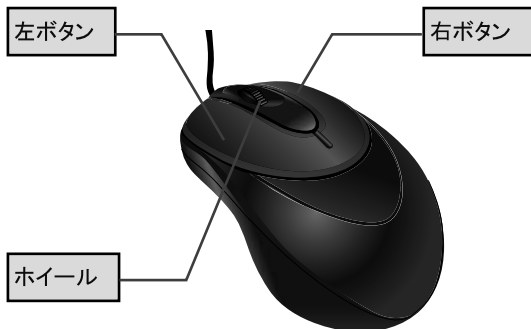
アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。【Ctrl】【Alt】【Shift】キーなどと組み合わせて使用することにより、特殊な操作を行うことができます。

SECTION

2 マウス

マウスの各部名称、使い方を説明しています。

チェックポイント ☑ 各ボタンの役割を確認する

各部の名称

注意

製品によって形状は異なります。

マウスの基本操作

step 1 クリック（シングルクリック）

左ボタンを素早く押してはなします。

step 2 ダブルクリック

クリックを 2 回続けて行います。

ワンポイント

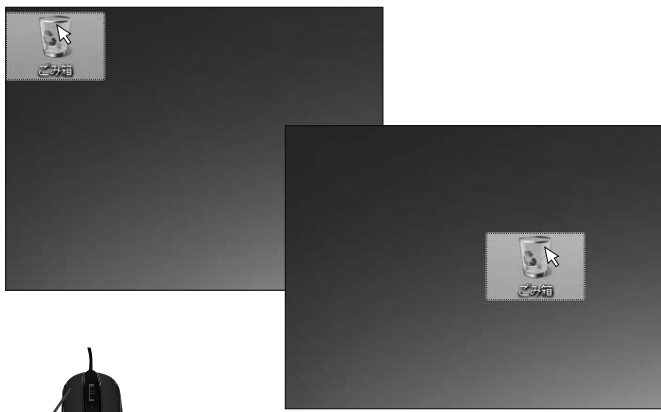
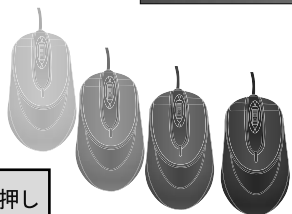
一般に「クリック」とは左ボタンのクリックのことを指し、右ボタンのクリックは「右クリック」と呼びます。

step 3 スクロール

ホイールを上、または下方向に回転させます。

ワンポイント

製品によっては左右のスクロール機能を持つものもあります。

step 4 ドラッグ＆ドロップ

左ボタンを押したままにして、

移動したい位置まで移動し、

左ボタンをはなします。

注意

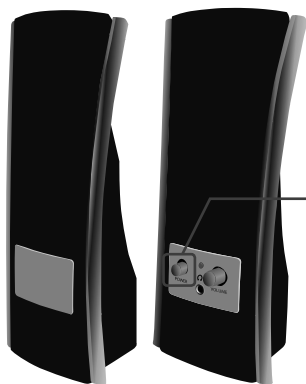
左図は表示設定の「自動整列」が「無効」になっています。

スピーカー

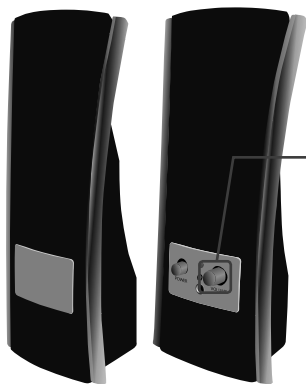
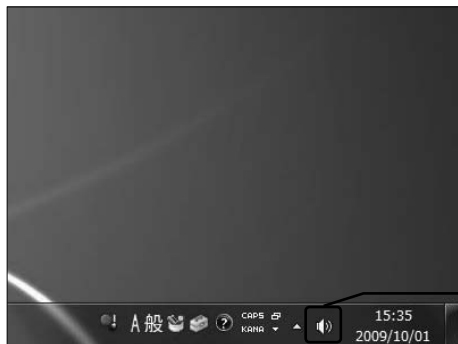
スピーカーの接続、ボリューム調整などを説明しています。

チェックポイント ☑ 音量を下げてから電源を入れる

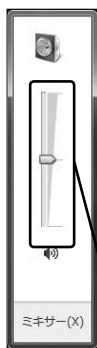
外付アクティブスピーカー（SP-2652U）

step 1 電源を入れます。

step 2 音量を調整します。

注意

ボリュームが大きくなっていると突然大きな音が出る場合がありますので、あらかじめ音量を下げてください。

音量の調整

step 1 スピーカーを起動します。

注意

スピーカーアイコンに禁止を示すマークがついている場合、ミュート（消音）に設定されています。

step 2 音量を調節します。

ワンポイント

音量調節は「スタートボタン ＞ コントロールパネル ＞ ハードウェアとサウンド ＞ サウンド（システム音量の調節）」からも行うことが可能です。

光学ドライブ

光学ドライブの扱い方を説明しています。

チェックポイント
- ☑ ディスクを入れる・取り出す
- ☑ 強制的にトレイを開ける

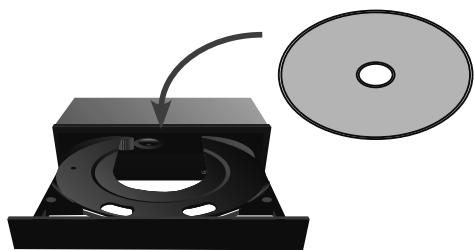
ディスクを入れる・取り出す

step 1 イジェクトボタンを押してトレイを出します。

イジェクトボタンを押します。

注意

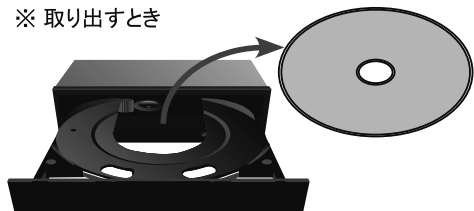
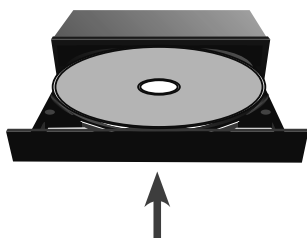
図はLUVMACHINESシリーズです。その他の製品の電源ボタンの位置につきましては、同梱のファーストステップガイドをご確認ください。

step 2 ディスクを入れる・取り出します。

ディスクをトレイの中央に置きます。

※ 取り出すとき

注意

ディスクのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にしてください。

また、光学ドライブが縦向きに取り付けられている場合、ディスクがトレイから落ちないよう、トレイの爪に引っかかるようにディスクをセットしてください。

step 3 トレイを閉じます。

トレイの前面を軽く押し込みます。

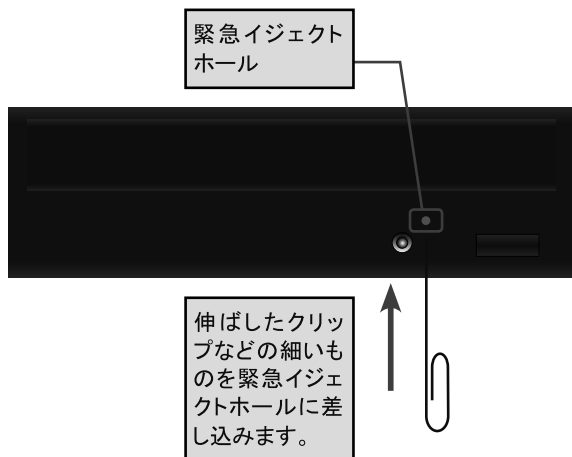
ワンポイント

トレイを少し押し込むと、自動的に閉まります。

強制的にトレイを開く

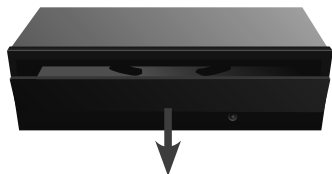
step 1 緊急イジェクトホールに伸ばしたクリップを差し込みます。

緊急イジェクトホール

伸ばしたクリップなどの細いものを緊急イジェクトホールに差し込みます。

注意

必ずパソコンの電源を切ってから行ってください。また、緊急時以外はこの作業を行わないでください。製品およびディスクが破損する恐れがあります。

※搭載されるドライブによって緊急イジェクトホールの位置は異なります。

step 2 トレイを手で引き出す

トレイが少し開いたら、手でトレイを引き出し、ディスクを取り出します。

SECTION 5

カードリーダー

カードリーダー搭載機種のみ

カードリーダーの取り扱い方を説明しています。

チェックポイント メディアを入れる・取り出す

各部の名称

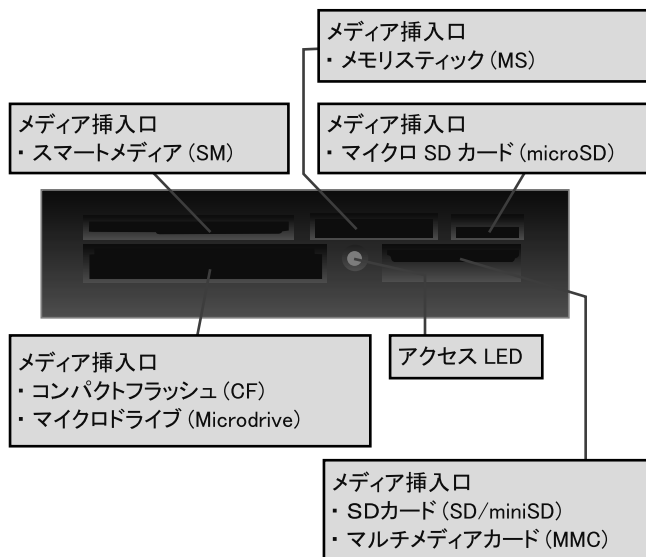
メディア挿入口
・メモリスティック（MS）

メディア挿入口
・スマートメディア（SM）

メディア挿入口
・マイクロ SD カード（microSD）

メディア挿入口
・コンパクトフラッシュ（CF）
・マイクロドライブ（Microdrive）

アクセス LED

メディア挿入口
・SDカード（SD/miniSD）
・マルチメディアカード（MMC）

注意

搭載されるカードリーダーにより形状が異なります。

ワンポイント

アクセス LED はメディアの有無、データ転送に関わらず点灯・点滅することがありますが、こちらは製品の仕様であり、不具合ではありません。

メディアを入れる・取り出す

step 1 メディアを入れます。

メディアを挿入します。

※SDカードの場合

注意

メディアを奥まで挿入できない場合、メディアの向きが上下逆さまの可能性があります。

step 2 メディアを取り出します。

メディアを引き出します。

注意

必ずデータ転送が完了してから引き出してください(コピーや移動中の画面が消え、カードリーダーのアクセスランプが消灯するとデータ転送完了となります)。

メディアを取り出すとき、画面右下のタスクトレイに表示される「ハードウェアの安全な取り外し」（デバイスの停止）を行う必要はありません。こちらの作業を行うと、カードリーダー自体を停止することになり、再度使用するには再起動が必要となります。

ハードウェアの安全な取り外しは不要です。

CHAPTER 1 2 3 4 5 各デバイスの動作

SECTION 6

マルチモニタ設定方法

マルチモニタの設定方法について説明しています。

チェックポイント ☑ あらかじめ 2 台のモニタを接続しておく

マルチモニタとは 2 台のモニタを使用して、同じ画面を 2 台のモニタに表示したり、2 つの画面を 1 つとして認識して画面を広く使用する手法です。

※注意※

マルチモニタは、デスクトップパソコンは 2 つ以上、ノートパソコンは 1 つ以上の外部モニタ端子が必要になります。その為1つのみのモニタ端子を搭載したオンボードビデオ（※）構成のデスクトップパソコンでは使用出来ません。また、オンボードビデオとして 1 つのみモニタ端子が存在するデスクトップパソコンに別途グラフィックボードを搭載した機種の場合、モニタの接続はグラフィックボードのみに行ってください。

※オンボードビデオとは、マザーボードと呼ばれる基板の一機能として組み込まれたモニタ端子を指します。

マルチモニタ設定手順

step 1 モニタの設定 を開きます。

注意

あらかじめ 2 台のモニタを接続しておく必要があります。

注意

製品によって設定方法は異なります。

注意

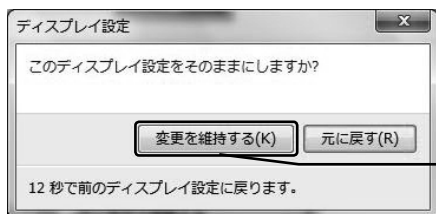
一部の SLI・CrossFire 採用機種でマルチモニタ設定を行うには、SLI・CrossFire の機能を無効にする必要があります。

step 2 複数のモニタの設定をします。

1 「複数のモニタ」のプルダウンをクリックします。

2 任意の設定をクリックします。

3 「適用」をクリックします。

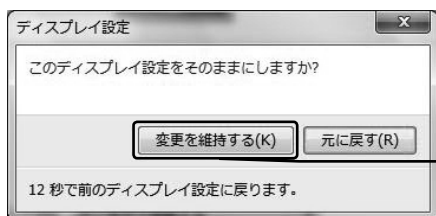
step 3 設定変更を保存します。

「変更を維持する」をクリックします。

step 4 解像度の設定をします。

1 「解像度」のプルダウンをクリックします。

2 必要に応じて解像度を設定します。

3 「適用」をクリックします。

step 5 設定変更を保存します。

「変更を維持する」をクリックします。

ワンポイント

「表示画面を複製する」
2 台のモニタに同じ解像度で同じ画面を表示します。
「表示画面を拡張する」
2 台のモニタを並べて、1 台の長いモニタのように表示します。
「デスクトップを○のみに表示する」
一方のモニタのみに表示し、もう一方のモニタには信号が行かなくなります。

ワンポイント

「表示画面を複製する」の設定で、種類の異なるモニタを接続している場合、共通の解像度のみ設定可能となります。
一方がワイドモニタ、もう一方がスクエアモニタの接続で複製設定の場合、解像度によっては左右（もしくは上下）に黒帯が表示される「レターボックス」の状態になることがあります。

SECTION 7

NVIDIA 3D Vision 設定方法

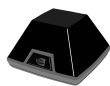
対応機種のみ

専用機器を使用して、立体視を行うための設定を説明しています。

チェックポイント
- ☑ 3D Vision キットが必要
- ☑ モニタ・モニタケーブルも対応製品の用意が必要

NVIDIA 3D Vision 設定手順

step 1 必要な機器を確認します。

3D メガネ

赤外線エミッタ

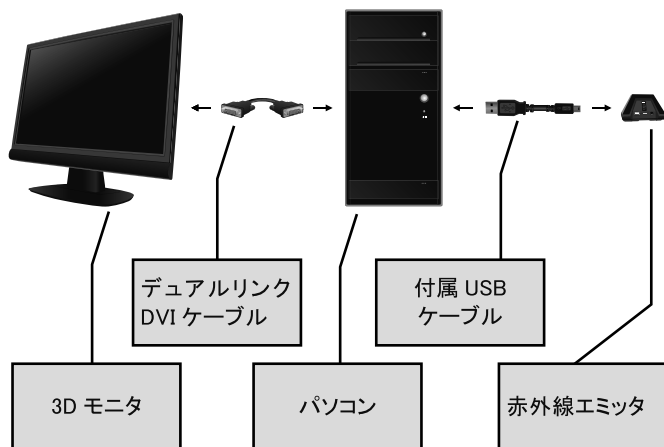
アクセサリ ボックス

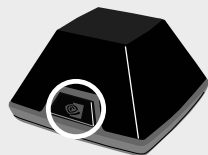
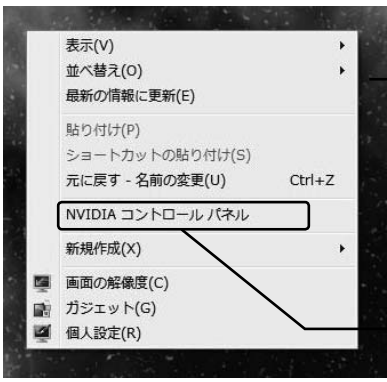
注意

3D 対応のパソコンでも、「3D Vision」を使用するには左記のキットが必要になります。セットモデル以外は別途用意する必要があります。

注意

ご使用のモニタが 3D に対応している必要があります。

step 2 機器を接続します。

ワンポイント

電源投入時、NVIDIA ロゴが緑色に点灯するか確認します。

step 3 NVIDIA コントロールパネルを起動します。

1 デスクトップの何も無い所を右クリックします。

2 「NVIDIA コントロールパネル」をクリックします。

step 4 セットアップウィザードを起動します。

1 「ステレオスコピック 3D を設定します」をクリックします。

2 「ステレオスコピック 3D を有効にする」をクリックしてチェックを入れます。

step 5 セットアップウィザードを進行します。

場面に従ってセットアップウィザードを進めてください。

最初のページは「NEXT」を、最後の英語ページは「Launch a slideshow of 3D game images upon finishing the wizard」のチェックを外し、「Finish」をクリックします。

ワンポイント

初回設定時は「ステレオスコピック 3D を有効にする」のチェックを入れた時点で、セットアップウィザードが自動で起動します。

2 回目以降は「セットアップウィザードの実行」をクリックすることで起動ができます。

ワンポイント

設定完了後、設定に使用したウィンドウを全て閉じてください。

OS の再インストール後等、パソコンに「3D Vision」の情報が入っていない場合には、サプリメントディスクよりインストールし、本ページの手順に従って再設定してください。

SECTION 8

地上デジタルチューナー設定方法

対応機種のみ

WindowsMediaCenter を使用して視聴する地上デジタルチューナーの設定方法を説明しています。

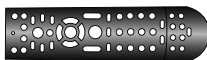
チェックポイント
- ☑ 各電波に対応するアンテナおよび関連機器の接続・受信契約が必要
- ☑ インターネット接続環境が必要

地上デジタルチューナー設定手順

step 1 必要な機器を確認します。

SMB 型変換ケーブル

B-CAS カード（使用許諾書付）

リモコン付属モデルには、以下のアイテムも同梱されています。

リモコン

単 4 乾電池 2 本（動作確認用）

リモコンレシーバー

注意

B-CAS カードは、3 波対応モデルの場合は赤色、1 波対応モデルの場合は青色のカードが同梱されています。

注意

視聴にはインターネット環境が必要です。

注意

3 波対応モデルについて

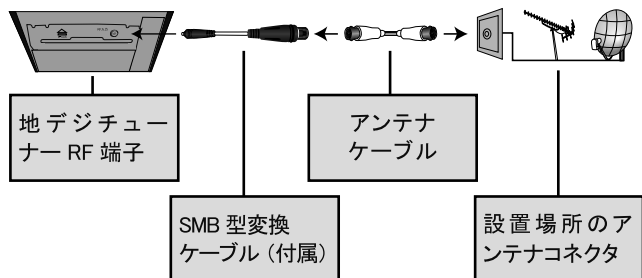
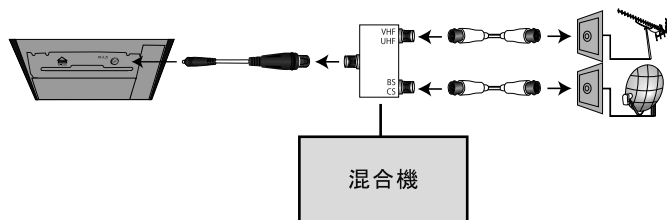
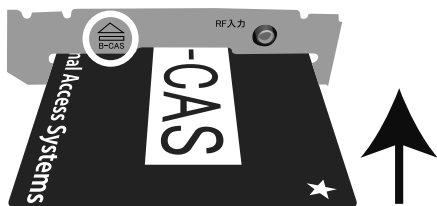
地デジと BS/110 度 CS の信号が分かれている場合は、別途混合機（ミキサー）が必要です。

BS デジタルアンテナへの電源供給には対応しておりません。
アンテナの設置環境により、他の BS/110 度 CS 対応機器（TV など）、または電源供給機の設置が必要な場合があります。

step 2 ご使用の前に、受信環境をご確認ください。

地上デジタル放送について	● お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていますか？ Dpa（社会法人デジタル放送推進協会）のサイト（http://www.dpa.or.jp/）にて確認ができます。 ● 地上デジタル放送アンテナの設置をしていますか？
BS/110 度 CS デジタル放送について（3 波モデルのみ）	● 受信契約および、BS/110 度 CS デジタル放送アンテナの設置をしていますか？

step 3 変換ケーブル・アンテナケーブルを取り付けます。

■ 1 波、もしくは 3 波信号混合の場合

■ 3 波信号個別の場合

step 4 B-CAS カードを挿入します。

パソコン背面にある地上デジタルチューナーカードの「B-CAS カード挿入口」に、△の側がカードの表になるように矢印の方向に奥まで挿入します。

ワンポイント

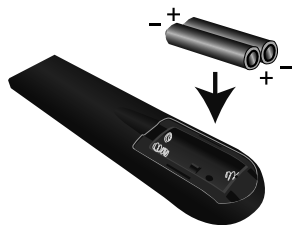
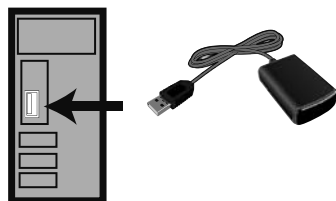
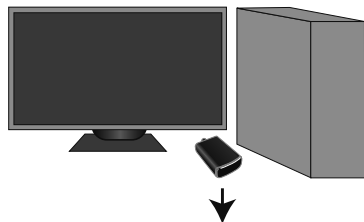
地上デジタル放送 1 波のみの場合、設置アンテナは地上デジタル用のみとなります。

注意

ご使用の前に、B-CAS カードの使用許諾書をお読みください。

挿入する際の面や向きが異なると。B-CAS カードを認識できず、地上で来る放送を視聴できません。

B-CAS カードの挿入時、抵抗を感じる部分がありますが、そのまま最奥まで挿入してください。

step 5 リモコンとリモコンレシーバーをセットします。

1 リモコンに単4乾電池を挿入します。

2 リモコンレシーバーをパソコンのUSB端子に接続します。

3 受光部を視聴場所の正面に向けます。

注意

リモコン付属モデルのみとなります。

step 6 WindowsMediaCenter の初回設定を行います。

下記アドレスを参照の上、初回設定を行います。

https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support2/sc_faq_documents.asp?FaqID=1787

尚、こちらのページ（http://www.mouse-jp.co.jp/）より「サポートセンター」→「FAQ 検索」→「フリーワード検索」とクリックし、「1787」と入力して検索をかけることで同様のページにアクセスすることができます。

また､リモコンの操作方法につきましては､同様の操作において「1784」と入力・検索をかけることで、ご確認いただけます。

ワンポイント

併せて、Microsoft 社の FAQ ページ（http://support.microsoft.com/?ln=ja）もご参照ください。

CHAPTER 4

ご利用に関して

※注意※

OS プリインストールモデルのメディアリカバリにおいて、デスクトップ上に「サプリメントディスクのバックアップ」というアイコンがある場合には、OS 再インストールを行う前にバックアップを取ってください。

詳しくは 19 ページ「サプリメントディスクのバックアップについて」をご確認ください。

SECTION

1 クリーニング

パソコンのお手入れの仕方を説明しています。

チェックポイント
- ☑ 乾いた布、または固く絞った布を使用する
- ☑ 有機溶剤は使用しない
- ☑ 内部清掃の際には配線に注意する

※注意※
クリーニングは定期的に行ってください。特に通気口やパソコン内部は、使用中常に空気と共に埃が行き来しており、埃の蓄積によってファンの動作不良・基盤の放熱不足が発生し、熱暴走による動作不良（使用中電源が落ちるなど）が発生する可能性があります。通常でも半年に 1 回、埃の多い環境でご使用の場合には、より短期間でのクリーニングを行ってください。

準備するもの

■ 軽い汚れのとき

・乾いたきれいな布

■ 汚れがひどいとき

・水かぬるま湯を含ませて固く絞った布

■ パソコンの内部を清掃するとき（デスクトップ製品）

・プラスドライバー

・掃除機（可能であれば細いノズルもご用意ください）

※注意※
シンナーやベンジンなど揮発性の有機溶剤は使用しないでください。また、これらの有機溶剤を含む科学ぞうきんも使用しないでください。製品を傷め、故障の原因になります。

水やぬるま湯などの液体をパソコン本体や周辺機器に直接かけないでください。故障の原因になります。

内部清掃を行う場合には、内部のパーツやケーブルに極力触れないようにしてください。故障の原因になります。

ワンポイント

OA 用クリーニングキットや薄めた中性洗剤などがあると便利です。
内部清掃を行う場合、エアダスターなどをご使用頂くと、より綺麗に清掃することが可能です。

パソコン本体・周辺機器の掃除

step 1 外側の汚れをふき取ります。

以下の製品は、やわらかい素材の乾いた布で拭いてください。また、汚れがひどい場合は水がぬるま湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。
また、薄めた中性洗剤を使用して拭いた場合は、水かぬるま湯を含ませ固く絞った布で二度拭きしてください。

- パソコン本体
- マウス
- キーボード
- モニタの画面以外の部分

step 2 内部の埃を除去します。

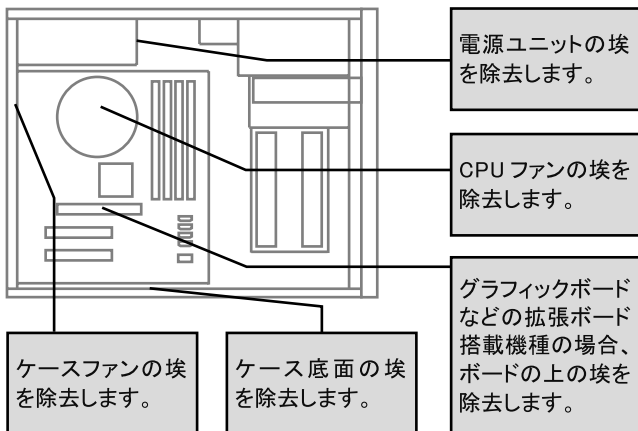
内部清掃を行うには、ケースのパネルを開ける必要があります。ケース背面向かって右側のサイドパネルを固定しているネジをドライバーで取り外し、サイドパネルを背面方向に数 cm スライドさせた後に取り外してください。

注意
必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の恐れがあります。

ワンポイント
キーボードのキーとキーの間など、細かい部分は綿棒を使用するときれいに埃・汚れが取れます。

注意
固いものでこすったり、強く押さえつけたりすると、故障や破損の原因になります。

注意
基盤周辺には様々なケーブルが接続されています。ケーブルを抜いたり破損すると、故障の原因になります。
また、拡張ボードやメモリに触れて接触不良状態になった場合、電源投入時に起動しなくなる場合があります。

ワンポイント
内部清掃後は、作業開始時と逆の手順でサイドパネル及びネジの取り付けを行います。

トラブルシューティング

様々な障害の対処方法について説明しています。

チェックポイント
- ☑ 症状を正確に把握する
- ☑ 改善されない・本項に掲載されていない症状の場合、サポートセンターに連絡する

電源が入らない

■ 電源コードがしっかりと差し込まれているかどうかご確認ください。

製品には電源コードが付属しています。このコードをパソコン背面の電源端子部に接続して，コンセントをご使用場所の差し込み口にしっかりと差し込んでください。差し込みが緩いと故障などの原因となりますのでご注意ください。

■ 電圧設定が「115V」になっているかどうかご確認ください。

製品は日本国内でのみの動作保証となります。よって電圧設定スイッチ（赤いスイッチ）は「115V」を表示させた状態にしてください。「230V」にしますと製品が故障する恐れがあり，危険ですのでお間違えの無いようにご注意ください。

※製品の仕様によっては、電圧切り替えスイッチが搭載されていない場合があります。その場合、本項目は該当しません。

■ 主電源（メインスイッチ）を「−」が押された状態にしてください。

主電源を「−」にすることで各パーツに電力が供給され，前面パネルのスイッチから電源を投入することが可能となります。

※製品の仕様によっては、主電源スイッチが搭載されていない場合があります。その場合、本項目は該当しません。

しっかりと差し込みます。

115V に設定します。

「ー」が押された状態にします。

写真は実際の製品と異なる場合があります。

■ 電圧低下による起動不良の可能性があります。

OA タップ等ご使用になられている場合、このようなトラブルが起きる可能性があります。壁のコンセントから直接電源取れるよう接続していただき動作確認行ってください。

■ 電源電圧低下による不都合の可能性があります。

電源電圧低下により以下のような症状が発生する場合があります。

・何度か電源スイッチを押さないと電源が入らなくなる。
・全く電源が入らなくなる。
・使用中に突然再起動したり、シャットダウンする。
・画面の映像がゆれる。

可能であれば電源への供給電圧がきちんと 100V あることを確認してください。ご使用の環境によっては瞬間的に電圧が低下することもあります。 単純にシステム本体の故障の可能性もありますので、上記を確認して改善できない場合は弊社サポートセンターまでお問合せください。

■ パソコン本体より何か焦げたような異臭がして起動しなくなった。

パソコン本体で故障が発生している可能性があります。パソコン本体の電源を切り、電源コードに直接触れないよう、ゴム製の手袋などをしてコンセントを抜いてください。その後弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 電源ユニットの故障の可能性があります。

システム本体内部の電源ユニット故障の可能性があります。ハード的な故障のため弊社サポートセンターでの修理が必要になります。

画面が映らない

■ モニタの電源が入っていない可能性があります。
モニタの電源 LED が点灯しているかご確認ください。詳細は 14 ページをご参照ください。

■ モニタケーブルが接続されていないか、接続不良の可能性があります。
モニタケーブルの挿し直しをお試しください。
また、パソコン側とモニタ側のモニタ端子が異なっていて接続出来ない場合、変換コネクタが付属されている場合がありますので、こちらをご使用下さい。変換コネクタが付属されていない場合には、お手数ですがお買い求め下さい。

■ マザーボードのモニタ端子にモニタを接続している可能性があります。
グラフィックボード（VGA）搭載機種の場合、グラフィックボードの D-SUB 端子、または DVI 端子にモニタを接続していただく必要があります。モニタの接続位置をご確認ください。

写真は実際の製品と異なる場合があります。

■ 1 台のモニタに、複数のモニタケーブルを接続している可能性があります。
パソコン・モニタともに数種類（D-SUB・DVI・HDMI）の接続規格が存在しますが、1 組のパソコン・モニタの接続は、製品に搭載されている規格の中で、いずれか 1 種類のみ接続して頂くことで表示可能です。デュアルモニタをご使用の際は、それぞれのモニタに 1 本ずつモニタケーブルを接続してください。

■ 起動の途中で画面が映らなくなってしまう場合、モニタの出力範囲外の解像度設定になっている可能性があります。
パソコンをセーフモード（66 ページ）で起動し、グラフィックドライバを削除してください。削除後、パソコンを再起動してください。正常に起動できた場合には、グラフィックドライバのインストールを行ってください。

■ 接触不良による起動不良の可能性があります。
通常、部品の接触不良の場合、Beep 音（エラー音）が出ますが、稀に無音状態になることがあります。
パソコンのケースカバーを開けていただきまして、メモリ・グラフィックボード 等を一度取り外してから再度、接続し直してください。改善されない場合は、弊社サポートセンターでの修理が必要になります。

■ 内部パーツの故障の可能性があります。
ここまでの内容で改善されない場合、システム本体内部パーツが故障している可能性が有ります。恐れ入りますが弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

起動しない

■ 電源は入りますが、ファンが回りません。

電源ボタンを 5 ～ 6 秒長押しして、一度電源を落としてから再度電源を入れ直してください。

デスクトップパソコンで内部クリーニングを行い、ファン周辺の清掃を行った場合には、ファンに異物が挟まっていないか確認してください。尚、異物が挟まっていた場合取り除く際には怪我の原因となりますので、必ず電源を落としてコンセントを抜いた状態で行ってください。

■ キーボードの Numlock ランプや、光学マウスの信号部分が反応しません。

キーボードやマウスが正常に接続されているか確認してください。PS/2 接続のキーボード・マウスの場合、仮にそのまま OS が起動した後に USB 接続の様に挿し直しを行っても反応しませんので、一度電源を落として接続し直してください。

■ ピーーーピーーー等の呼び出しの様な効果音（BEEP 音）が聞こえます。

PS/2 キーボードや内部パーツ（メモリ・グラフィックボード等）の接触不良の可能性があります。キーボードの場合は一度電源を落とした状態で挿し直しを行ってください。

内部パーツの場合、恐れ入りますが弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■ フロッピードライブやカードリーダーにメディアを入れたまま、起動しています。

フロッピーディスクや SD などのフラッシュメディアを挿入したまま起動した場合、ハードディスクよりもそれらのメディアを先にアクセスする場合があります。これらのメディアには OS が入っていない為通過する場合がほとんどですが、そのまま起動が停止する場合がありますので、これらのメディアを取り出した状態で再度起動を行ってください。

■ 外部 USB 機器を接続・電源投入した状態で起動しています。

USB 機器、その中でもハードディスクなどのストレージデバイス（記憶機器）や、内部に一時的にデータを保管するメモリを持つプリンターなどを接続・電源投入した状態で起動した場合、これらの認識段階で処理がループしてしまい起動が止まっている様に見えます。その場で該当機器の電源を切ると再開しますので、OS が完全に起動した後に該当機器の電源を入れ直してください。

■ 「Press F1 to continue , DEL to enter SETUP」と表示されて、その後動きません。

BIOS 情報が初期化もしくは破損しています。キーボードの「Delete（もしくは DEL）」キーを押して BIOS 画面を起動してください。カーソルキーで「Load Optimized Defaults」「Get Default Values」の項目にカーソルを移動し「Enter」キーを押すと確認メッセージが表示されますので「Y」キーを押します。確認メッセージが消えない場合は「Enter」キーを押してください。その後キーボードの「F10」キー→「Y」キー→「Enter」キーと順番に押して、パソコンの再起動を行ってください。

機種によっては項目名が異なる場合があります。ご不明な点は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 「OS Not Found. Insert Systemdisk. Press Any Key.」と表示されて、その後動きません。

OS がインストールされていない、もしくは破損しています。OS インストール以前の場合は、64 ページを参照の上インストールを行ってください。

これまでご使用出来ていた状態でこの英文が表示された場合、セーフモード（58 ページ参照）も起動出来ない状態となりますので、ハードディスクのフォーマット・OS 再インストールを行ってください。その際ハードディスク内部のデータは全て消去する必要があります。

■ 「NTLDR is Missing」と表示されて、その後動きません。

ハードディスク内にある「ブートローダー」と呼ばれる OS を起動するための領域が破損している状態です。ハードディスクフォーマット・OS 再インストールを行ってください。その際ハードディスク内部のデータは全て消去する必要があります。

■ 「Press F4 to resume」と表示されて、その後動きません。

電源投入直後、何らかの理由で電源が落ちたとき等に表示されることがあります。キーボードの「F4」キーを押して頂くことで起動が再開します。何回も表示される場合には BIOS 情報の初期化を行う必要があります。ご不明な点は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 「CMOS Checksum Error」と表示されて、その後動きません。

BIOS 情報が破損している状態です。BIOS 情報の初期化を行う必要があります。BIOS 情報の初期化を行っても改善されない場合、BIOS 情報を保存するためのバッテリー電力が無くなっている可能性があります。デスクトップパソコンの場合にはお客様ご自身での交換も可能でございますので、お近くのホームセンター様等で指定のバッテリーをお買い求め頂き、交換頂ければと思います。ご不明な点は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

尚、このバッテリーは通常 2 ～ 3 年が寿命の目安となりますが、コンセントからの電力供給と平行してバッテリー電力を消費する為、パソコンをご使用頂かないときにコンセントを抜かれる場合バッテリーの消耗が早まる場合があります。予めご了承ください。

■ 「S.M.A.R.T.」と表示されて、その後動きません。

データを記憶するハードディスクの不具合の可能性があります。交換の必要がありますので、恐れ入りますが弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ ハードディスクの動作音が聞こえません。

BIOS 上での起動順番にハードディスクが含まれていない可能性があります。BIOS 上の起動順番をご確認の上、ハードディスクを最初もしくは光学ドライブの後に起動する様設定してください。ご不明な点は弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

尚、SSD（Solid State Drive）搭載機種の場合、データ読み書き時の音は発生しません。

■ パソコン内部から「カチッ・・・カチッ・・・」という金属音が聞こえます。

データを記憶するハードディスクの不具合の可能性があります。交換の必要がありますので、恐れ入りますが弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■「Windows を起動しています」と表示されて、その後動きません。

主に USB の外部機器を接続している場合に発生します。該当 USB 機器を取り外すか、USB 機器の電源を落としてください。

■ログインパスワード設定状態で、パスワードを入力してもログイン出来ません。

パスワードが間違っている可能性があります。正しいパスワードを正確に入力してください。

パスワードの内容に問題がない場合、OS 内のユーザーアカウント情報が破損している可能性があります。セーフモード（66 ページ参照）を起動するか別のアカウントを作成している場合にはこちらからログインを行って、必要なデータのバックアップ後にハードディスクフォーマット・OS 再インストールを行ってください。

尚、デスクトップ画面やブラウザのお気に入り情報等、個々のアカウント別に管理される情報に関しては、別アカウントからのアクセス・バックアップは出来ませんので予めご了承ください。

■青地に白文字の英文が表示されて、その後動きません。もしくは、表示後すぐに再起動してしまいます。

OS が破損している可能性があります。ハードディスクフォーマット・OS 再インストールを行ってください。

OS 再インストール後も改善しない、もしくは OS 再インストール自体が正常に行えない場合、ハード的な不具合が発生している可能性があります。青地に白文字の英文が表示される画面の下部に、「STOP：0x000000XX（XX の部分は状況によって変わります）」と書かれた部分があるかと思いますので、その部分をメモ等にお書き取りの上、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■デスクトップ画面は出るが、アイコンやマウスカーソルが表示されません。

OS 起動時に起動するアプリケーションを多数登録されている場合、起動に時間がかかる場合があります。特にウィルス監視ソフト等をご利用の際は、他のアプリケーションを極力同時に起動されない様、設定をお願いします。

数分経過後も表示されない場合には、OS が破損している可能性があります。ハードディスクフォーマット・OS 再インストールを行ってください。

音が出ない

写真は実際の製品と異なる場合があります。

■ アンプ付きスピーカーがきちんと接続されていない可能性があります。

パソコンで音楽を聴いたり、Windows の効果音を出すには、外部にアンプ付きスピーカーを接続する必要があります。

■ スピーカーの接続位置が違う可能性があります。

スピーカーを接続している位置が誤っている可能性があります。ほとんどの場合、リアパネルの緑色 3.5Φ ジャックに接続します。サウンドカードを増設している場合、そちらのジャックに差し込みます。

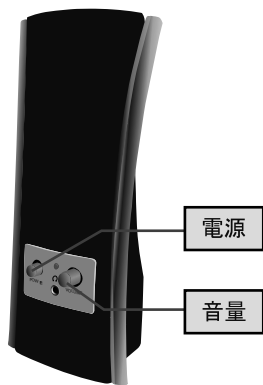
■ ステレオスピーカーが「リアスピーカー」として認識されている可能性があります。

OS 起動状態でスピーカーを接続したとき、「このデバイスは、以下のように認識される必要があります」というウィンドウが表示される場合があります。これは各スピーカーの役割を設定するものですが、ステレオスピーカーの場合、パソコンの前面・背面いずれかの出力端子（黄緑）に接続しても「フロントスピーカー」として認識させる必要があります。

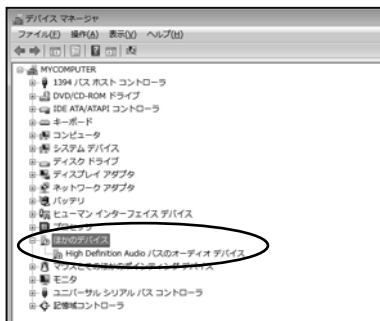
■ 外付けスピーカーの電源が入っていない可能性があります。

外付けスピーカーの電源がきちんと接続されていないか、電源が ON になっていません。スピーカーの電源ランプが点灯しているのを確認します。

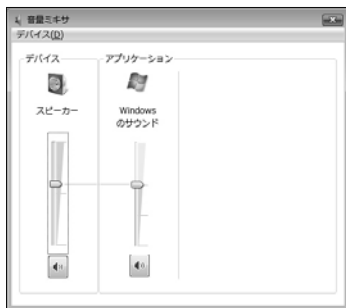
■ 外付けスピーカーのボリュームが絞られている可能性があります。

外付けスピーカーのボリュームが絞られている可能性が有ります。ボリュームを右に回して上げてみてください。

■ デバイスマネージャに「サウンド､ビデオ､およびゲームコントローラー」がない。

サウンドドライバがインストールされていない可能性があります。「ほかのデバイス」の中に「オーディオ関連の項目」が入っていますでしょうか。

入っている場合は、付属のドライバ CD を光学ドライブにセットし､「オーディオ関連の項目」を右クリックー［プロパティ］ー［ドライバ］タブー［ドライバの更新］でサウンドドライバをインストールしてください。

【デバイスマネージャの開き方】
1. 「スタート」ボタンを押します。
2. 「コンピューター」を右クリックします。
3. 「システムのプロパティ」をクリックします。
4. 「デバイスマネージャ」をクリックします。

■ 音量ミキサの設定が原因で音が出ない可能性があります。

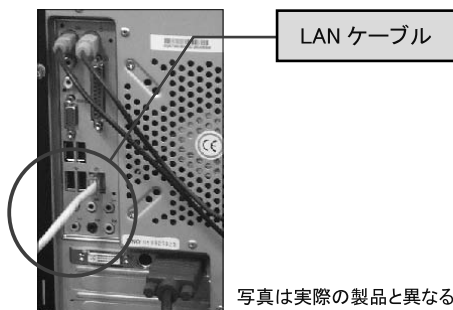
音量ミキサで「ミュート」のチェックが入っていないことを確認のうえ、各音量を調節してください。

「音量ミキサ」を表示するには、画面右下のスピーカーのアイコンを右クリックし、「音量ミキサを開く」をクリックします。

■ 対応していないヘッドフォンを接続している可能性があります。

パソコンのサウンド出力は Line-Out になっており、ヘッドフォン等低インピーダンス機器に接続できる様設計されておりません。ヘッドフォンをご使用の際はアクティブスピーカーのヘッドフォン端子に接続するか、アンプ等を介してご使用ください。

ネットワークに繋がらない

■ LAN ケーブルが接続されていないか、接続不良の可能性があります。
LAN ケーブルの挿し直しをお試しください。

LAN ケーブル

写真は実際の製品と異なる場合があります。

■ デバイスマネージャで「 ネットワークアダプター 」が見当たりません。
ドライバがインストールされていない場合、「ほかのデバイス」の中に「PCI Ethernet Controller」等の Ethernet 関係のドライバが入っていないでしょうか。入っている場合は、付属のドライバ CD を光学ドライブにセットし、その項目のプロパティを開き、[ドライバ] タブー [ドライバの更新] でドライバをインストールし直して下さい。

【デバイスマネージャの開き方】
1. 「スタート」ボタンを押します。
2. 「コンピューター」を右クリックします。
3. 「システムのプロパティ」をクリックします。
4. 「デバイスマネージャ」をクリックします。

■ ハブ等を使用しパソコン同士を接続すると通信出来るのに、インターネットに接続出来ません。
インターネットに接続するには、インターネット接続会社（プロバイダ）様と接続の契約を行って頂く必要があります。また、工事等が必要となりますので契約後もすぐに接続することは出来ません。詳細はプロバイダ様にご確認ください。
また、契約及び開通がお済みの状態で接続出来ない場合、インターネットの設定が正しい状態になっていない可能性があります。プロバイダ様から配布された接続マニュアルをご確認の上、設定を行ってください。ご不明な点はプロバイダ様までお問い合わせください。

■ LAN ボードまたは、ハブ・ルーター・モデムの LNK/ACT LED が点灯しません。

ドライバのインストールが正常に終了し、コンピュータとハブの両方の電源が入っているのにアダプタ、ハブ両方の LNK/ACTLED が点灯しない場合は、ネットワークケーブルまたはケーブル接続の不良が考えられます。以下の点をご確認ください。

① ネットワークケーブルがネットワーク端子、ハブ双方にしっかりと接続されているか確認してください。
② クロスケーブルを使用していないか確認してください。ネットワークに接続するためにはストレートケーブルを使用する必要があります。
③ 他のネットワークに正常に接続できている機器とケーブルを交換し、ケーブルが不良でないか確認してください。

■ ドライバのインストールが正常に終了し、LNK/ACT LED が点灯しているのに通信が出来ません。

コントロールパネルのネットワークで使用しているプロトコルやワークグループ(ドメイン)名等の設定を確認してください。プロトコルとワークグループ(ドメイン)名はネットワーク上のすべて同じに設定する必要があります。また、TCP/IP プロトコルを使用している場合は IP アドレスを設定する必要があります。
※ IP アドレスはご契約のプロバイダ様、または接続されているネットワーク機器のメーカー様へお問い合わせください。

■ InternetExplorer 起動時及びリンク先移動の際にページが表示されず、更新をかけると表示されます。

Windows7 の通信プロトコルは IPv6 が標準で使用されています(WindowsVista 以前は IPv4)。その為、ご使用の通信機器(モデム・ルーター・ハブなど)の IPv6 設定を行って頂くか、完全に無効にして頂く必要があります。
設定内容に関してご不明な点は、接続されているネットワーク機器のメーカー様へお問い合わせください。

ネットワークの通信速度が遅い

■ インターネットの契約速度が出ていません。

インターネットはプロバイダ様提供の基地局からお客様ご使用場所までの距離が、遠ければ遠い程速度が遅くなります。これはインターネットのデータ転送に使用しているケーブル内に抵抗が発生している為で、ADSL の場合では基地局から 2km 程離れると契約の半分程の速度しか出なくなります。
また、ADSL の場合ではお近くに ISDN 回線をご使用のお宅があると、著しく速度が遅くなる場合があります。

■ ホームページの表示速度や、ファイルのダウンロード速度が場所によって遅い所があります。

ホームページやダウンロードファイルは、プロバイダ様等が提供する「サーバー」と呼ばれるコンピューターで管理されており、ホームページを表示したりファイルをダウンロードする時はこれらのサーバーにアクセスしているのですが、これらのサーバーの接続状態や同時アクセス数によって速度が増減します。
また、サーバーとインターネットを接続する設備の最大速度が遅い場合、サーバー側の接続速度に合わせられます。例としてお客様の接続環境が 100 という速度が出る状態でも、接続するサーバーの速度が 10 である場合、このサーバーに接続する時には最大でも 10 の速度までしか出ないという事になります。

■ LAN ケーブルを交換したら、通信速度が遅くなりました。

LAN ケーブルには「カテゴリー」と呼ばれる規格が存在します。数字が大きい程速度が早くなりますが、インターネットをメインとする場合には「カテゴリー 5」以上のケーブルをご使用頂ければ問題ありません。

■ 有線 LAN と無線 LAN で速度が違うのですが。

有線 LAN と無線 LAN では最大速度が異なり、規格によって変わりますが有線 LAN の最大は 1000Mbps、無線 LAN の最大は 300Mbps となります。
また、インターネット接続の最大速度は光回線でも 100Mbps となりますし、ご使用頂くルーターやハブそれぞれの速度によっては、更に速度が変わります。

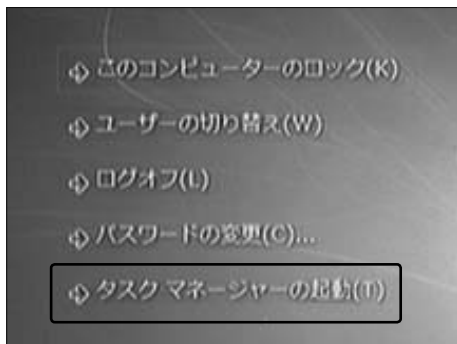
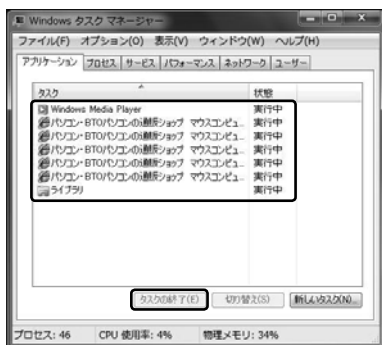
その他、専用のデータ転送ルートを確保出来る有線 LAN と異なり、無線 LAN は空気中に電波を飛ばして通信を行う為、アクセスポイントまでの距離やその間の障害物・階を隔てた通信等で著しく速度が変動します。無線 LAN をご使用の際には、アクセスポイントとの距離や環境の改善をご考慮ください。

■ 無線 LAN で 300Mbps の速度が出ると聞きましたが、実際に接続すると 54Mbps しか出ません。

パソコンと無線 LAN アクセスポイントの双方が、11n 規格に対応している事をご確認ください。

フリーズする

■ 一部のアプリケーションのみがフリーズしました。

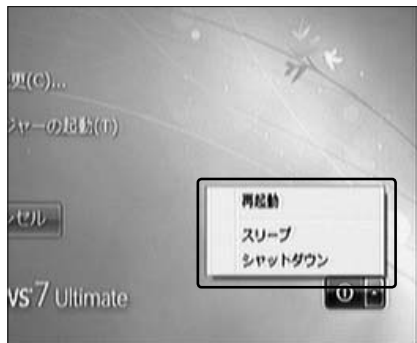
【Ctrl】【Alt】【Delete】キーを同時に押します。画面が変わった場合には、この画面から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。

「Windows タスクマネージャー」が起動し「アプリケーションタブ」が選択されており、現在起動しているアプリケーション名が表示されている状態になります。

一覧よりフリーズしているアプリケーション、もしくは「状態」が「応答なし」になっているアプリケーションをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。確認ウィンドウが表示されますので、「はい」をクリックしてしばらくお待ち下さい。

■ アプリケーションインストール後にフリーズするようになりました。

インストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。インストールしたアプリケーションをアンインストールし、動作を確認してください。

■ Windows7 のシステム自体がフリーズしました。

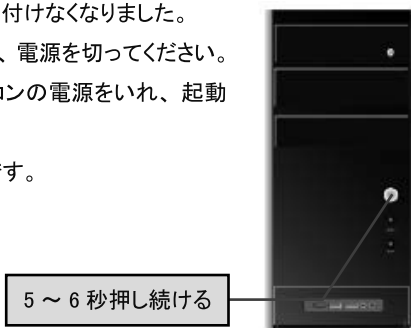
【Ctrl】【Alt】【Delete】キーを同時に押します。

画面が変わった場合には、この画面の右下にある赤いボタンの右側「▲」をクリックし、シャットダウンもしくは再起動ができるかどうかお試しください。

画面が変わらない場合は、パソコン本体の電源ボタンを 5 ～ 6 秒押し、電源を切ってください。この方法で電源を切った後は、再度パソコンの電源をいれ、起動の確認を行ってください。

■ マウスやキーボードなどの操作を一切受け付けなくなりました。

パソコン本体の電源ボタンを 5 ～ 6 秒押し、電源を切ってください。この方法で電源を切った後は、再度パソコンの電源をいれ、起動の確認を行ってください。

※ 図は LUV MACHINES シリーズのものです。

5 ～ 6 秒押し続ける

■ Windows システムが破損している可能性があります。

お手数ではありますが、データのバックアップを行っていただき、Windows の再セットアップをお試しください。こちらにて改善しない場合、ハードウェアの不具合の可能性がありますので、サポートセンターまでお問い合わせください。

電源が落ちる

■ 電源投入後暫くしてから電源が落ちる。その後すぐに再起動を行うが、まもなく電源が落ちてしまいます。

パソコン内部の温度が上昇し、熱暴走が発生している可能性があります。パソコン周辺は 5cm 以上の空間を設け、特に通気口周辺には十分な空間を設けてください。

また、パソコン内部の各パーツの冷却ファンに埃が溜まっている可能性があります。「クリーニング（44 ページ・45 ページ）」を参考に清掃を行ってください。

■ 電源投入後、数秒で電源が落ちてしまいます。

パソコンが起動する為に必要な電力が供給されていない可能性があります。

パソコンはデスクトップ製品の場合最低でも 50W 前後の電力を使用します（性能によって変わり、500W 以上使用する製品もあります）。その為電力供給側も相応の設備が必要となりますが、特に一般家庭用の電源タップ（1つのコンセントを複数に増やす機器）では最大でも 300W 前後までの電力しか供給出来ない為、パソコンとモニタを同じ電源タップに接続した場合、また電源タップの最大入力を超える電力を必要とする高性能パソコンを接続した場合には、電力供給が足らず電源が落ちる可能性があります。

この場合、ご使用環境の壁等に設置されたコンセントをご使用頂くか、事務機器用の電源タップ（最大入力 1000W など）をご使用下さい。

■ ウィルス監視ソフトにおけるハードディスクスキャン、もしくは特定のアプリケーションの起動・操作中に電源が落ちてしまいます。

データを記憶するための機器（ハードディスク）にデータ的なエラーが発生している可能性があります。この場合エラーチェックを行う事で改善出来る可能性があります。「スタート」→「コンピューター」と進み、「ローカルディスク（C:)」を右クリックします。

メニューが表示されますので「プロパティ」をクリックし「ローカルディスク（C:) のプロパティ」を表示します。「ツール」タブをクリックし「エラーチェック」内の「チェックする」をクリックします。「ディスクのチェック」のウィンドウが表示されるので「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」「不良セクターをスキャンし、回復する」の 2 つのチェックボックスをクリックしてチェックが入ったのを確認し、「開始」をクリックします。

■ ここまでの作業を行っても改善されません。

ハードウェアの不具合の可能性がありますので、サポートセンターまでお問い合わせください。

その他の現象

■ 32bitOS 使用時、物理メモリの容量がカタログスペックよりも少ない場合があります。

Windows7 では 32bit と 64bit という 2 種類のシステムが存在します。この 2 種類ではメモリ管理方法が異なります。32bitOS では最大 4GB までの認識となり、搭載されているパーツ及び周辺機器の管理・動作に必要なメモリも、この 4GB の中から優先的に確保されます。その際、搭載している物理メモリの容量が、最大認識容量の 4GB から優先確保されるシステムメモリ分を差し引いた容量よりも多い場合、超過した分が物理メモリから差し引かれます。その為、物理メモリの容量よりも想定されるメモリ空き容量が少なくなります。

対して 64bitOS ではエディションによって異なりますが、最大 192GB までのメモリを認識出来ます。また 4GB までの認識の壁も存在しないため、4GB を超えるメモリを搭載しても認識・使用することが可能となります。

■ Blu-ray の映像が再生されません（対応機種のみ）。

再生用のコーデック（メディア内の圧縮映像データを解凍するプログラム）がインストールされていない可能性があります。このコーデックはパソコン付属の Blu-ray 再生ソフトをインストールして頂く事で、再生ソフトと共にインストールされますが、OS 標準ではインストールされていない為、再生ソフトをインストールせずにメディアプレイヤー等で再生しようとしたときに発生することがあります。その際は再生ソフトをインストールして下さい。

■ Blu-ray ディスクや地上デジタル放送の映像を表示しようとすると、「HDCP に対応していない」旨のメッセージが表示されます。

Blu-ray ディスクや地上デジタル放送では、HDCP という著作権保護技術が使用されています。これは送信（パソコン）側でデータを暗号化し、受信（モニタ）側で暗号化を解除して表示されるものですので、パソコン・モニタ双方が HDCP に対応している必要があります。

Blu-ray・地上デジタル放送対応 PC に関しましては、弊社出荷状態で HDCP に対応しておりますが、モニタをセット購入されていない場合、ご利用のモニタが HDCP に対応しているかご確認ください。

■ デスクトップの DVI 端子に変換コネクタを使用し、HDMI 端子でモニタに接続しても、HDMI 端子から音声が出力されません（対応機種のみ）。

HDMI 接続規格は通常 1 本のケーブルで映像・音声の両方を転送するものですが、一部の製品ではオーディオケーブルをグラフィックボードに接続する必要があり、弊社ではこれらの製品にオーディオケーブルを接続していないため、該当機種では音声出力することは出来ません。対応機種のみ出力可能となります。

また、スピーカー内蔵のモニタの種類によっては HDMI 端子で接続して映像を表示する場合、音声入力も HDMI からのものに自動で切り替える場合がありますので、別途ステレオのアナログケーブルでモニタに接続しても内蔵スピーカーから音声が出力出来ない場合があります。この現象は不具合ではございません。

■ OS のプロダクトキー入力時に受け付けないキーがあります。

プロダクトキー入力時は入力ミスを防ぐ為、プロダクトキーに使用されていない文字は入力出来ない様になっています。入力しようとした文字が入力出来ない場合間違えていますので、今一度プロダクトキーをご確認下さい。

■ 動画再生サイト等で動画が再生出来ません。

動画再生サイトでは、主に Flash という形式で再生されていますが、OS 初期段階では対応アプリケーションがインストールされていません。各動画再生サイトの利用方法をご確認頂き、必要なアプリケーションをインストールして下さい。

SECTION

3 セーフモードでの起動

Windows7 が起動しなくなった場合などは、セーフモードで起動し操作を行うことで回復する可能性があります。

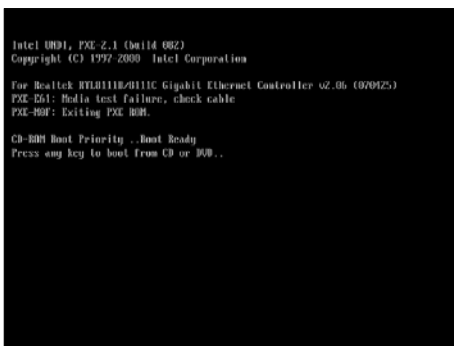
チェックポイント
- ☑ セーフモードでの起動
- ☑ セーフモードで終了
- ☑ セーフモードで有効な操作

セーフモードでの起動・終了

step 1 パソコン起動直後に、【F8】キーを断続的に押します。

```
Intel UNDI, PXE-2.1 (build 082)
Copyright (C) 1997-2000  Intel Corporation

For Realtek RTL8111B/8111C Gigabit Ethernet Controller v2.06 (070425)
PXE-E61: Media test failure, check cable
PXE-M0F: Exiting PXE ROM.

CD-ROM Boot Priority ..Boot Ready
Press any key to boot from CD or DVD..
```

パソコンの電源を投入直後に、【F8】キーを断続的に押します。

★注意★
起動直後の画面は、パソコンの本体構成により異なる場合があります。

step 2 ［詳細ブート オプション］が表示されます。

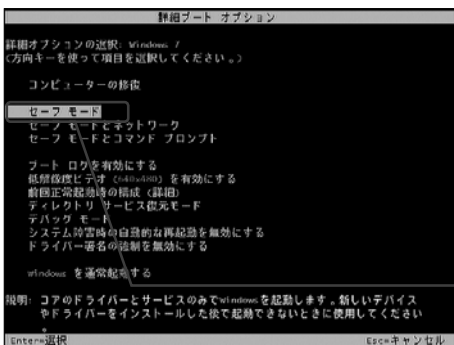
```
詳細ブート オプション
詳細オプションの選択: Windows 7
(方向キーを使って項目を選択してください。)

  コンピューターの修復

  セーフ モード
  セーフ モードとネットワーク
  セーフ モードとコマンド プロンプト

  ブート ログを有効にする
  低解像度ビデオ (640×480) を有効にする
  前回正常起動時の構成 (詳細)
  ディレクトリ サービス復元モード
  デバッグ モード
  システム障害時の自動的な再起動を無効にする
  ドライバー署名の強制を無効にする

  Windows を通常起動する

説明: コアのドライバーとサービスのみでWindowsを起動します。新しいデバイス
  やドライバーをインストールした後で起動できないときに使用してください
Enter=選択                                        Esc=キャンセル
```

［詳細ブート オプション］の画面が表示されます。

［セーフモード］が選択されていることを確認し、【Enter】キーを押します。

ワンポイント

セーフモードとは

セーフ モードは、制限付きの状態でコンピュータを起動する、Windows 用のトラブルシューティング オプションです。Windows の実行に必要な基本ファイルとドライバのみが起動されます。セーフモードで起動した場合、「セーフ モード」という語句がモニタの隅に表示されます。

Windows が通常起動出来なくなった場合などでも、セーフモードならば起動できる場合があります。セーフモードで起動できるようであれば、「システムの復元」を使用して、Windows が通常起動していた日付までシステムの状態を戻すことで、Windows が通常起動するよう復旧できる可能性があります。

step 3 セーフモードで Windows7 が起動します。

Windows7 が セーフモードで起動します。

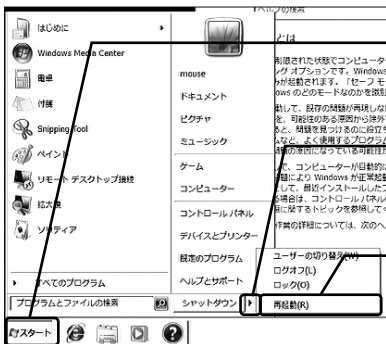
［システムの復元］など、復旧に有効と思われる操作を行います。

Windows の復旧のために有用なツール

①システムの復元
コンピュータのシステムの状態を、以前の時点へ復元します。詳しくは、次章「システムの復元方法」をご覧ください。

②デバイスマネージャー
デバイス ドライバを更新し、コンピュータにインストールされているハードウェアを構成します。このプログラムを使用するには、管理者としてログオンしている必要があります。管理者としてログオンしていない場合、自分のユーザー アカウントに適用する設定のみを変更できます。

③コントロールパネル
Windows の設定を変更するためのさまざまなツールにアクセスします。

step 4 セーフモードを終了し、Windows を通常起動します。

1 ［スタート］ボタンをクリックします。

2 ロックボタンの右にある［▶］をクリックします。

3 ［再起動(R)］をクリックします。

再起動がかかり、Windows が 通 常モードで起動します。

☛ ワンポイント

セーフモードの種類

セーフモードには、［セーフモード］、［セーフモードとネットワーク］、［セーフモードとコマンドプロンプト］の 3 種類があります。通常は、［セーフモード］を使用しますが、必要に応じて起動方法を選択する必要があります。

①［セーフモード］
ドライバとサービスの最小のセットで、Windows を起動します。

②［セーフモードとネットワーク］
セーフ モードで Windows を起動し、ネットワーク上の他のコンピュータまたはインターネットへのアクセスに必要なネットワーク ドライバとサービスを含めます。

③［セーフモードとコマンドプロンプト］
セーフ モードで Windows を起動し、通常の Windows インターフェイスの代わりにコマンド プロンプト ウィンドウを表示します。このオプションは、IT プロフェッショナルと管理者用です。

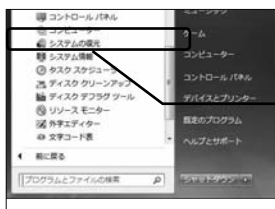
SECTION

4 システムの復元を利用する

何らかの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合は、設定変更前の時点まで「システムの復元」を行うことで回復することがあります。

チェックポイント
- ☑ システムの復元の実行
- ☑ 復元ポイントの作成
- ☑ 復元されるファイルの種類

システムの復元を実行する

step 1 「システムの復元」の起動をします。

「すべてのプログラム」⇒「アクセサリ」⇒「システムツール」⇒「システムの復元」をクリックします。

step 2 システムの復元が起動します。

「次へ」をクリックします。

step 3 復元ポイントを選択します。

1 復元ポイントを選択します。

2 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

復元ポイントの自動生成

システムの復元に使われる復元ポイントは、Windows7 によって自動的に作られます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows にとって重要な変更が行われた際は、自動的に復元ポイントが作成されます。

ワンポイント

セーフモードでの復元

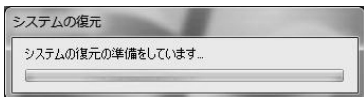
Windows が正常起動しなくなった場合でも、セーフモードなら起動する場合があります。この場合、セーフモードで Windows を起動した後、Windows が正常動作していた時点の復元ポイントまで、システムの復元を行うことで、Windows の破損を修復できる可能性があります。

step 4 復元ポイントを確認します。

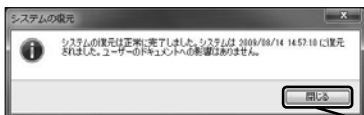
「完了」をクリックします。

step 5 注意事項を確認します。

「はい」をクリックします。

step 6 システムの復元が開始します。

暫くお待ちください

システムの復元が開始されます。完了後再起動がかかります。

step 7 システムの復元が完了します。

「はい」をクリックします。

再起動後、システムの復元が完了した確認メッセージが表示されます。

ワンポイント

データファイルは復元されない

　システムの復元を行うと、アプリケーション、ドライバ、WindowsUpdate、各種設定などの状態は、復元ポイント時点まで戻りますが、メール、ドキュメントの中にある各種データなどが失われることはありません。

SECTION

5 Windows7 の ハードディスクリカバリ

システムの復元でも回復できないような致命的な問題が Windows 上に発生した場合、Windows を再インストールすることで問題を解決します。

チェックポイント
- ☑ Windows7 の再インストール
- ☑ メディアリカバリは行わない

Windows7 の再インストール方法では、大きく分けて「メディアリカバリ」と「ハードディスクリカバリ」の 2 つが存在します。

「メディアリカバリ」とは、Windows7 のシステムディスクを使用し、光学ドライブから起動を行いインストールする方法です。こちらの再インストール方法は 72 ページをご参照ください。

これに対し「ハードディスクリカバリ」とは、Windows7 のシステムディスクを使用せず、パソコンの中にあるハードディスクにあらかじめ保存されたリカバリ情報から再インストールする方法です。Windows7 のシステム情報は勿論、画面や音声に関するデバイスドライバも収録されている為、リカバリ完了後はそのまま通常通り使用できるのが特徴となります。

どちらのリカバリ方法を使用するかは、あらかじめ製品ごとに決められています。詳しくは製品専用のマニュアルをご参照いただくか、サポートセンターまでご連絡ください。

※注意※

ハードディスクリカバリモデルでリカバリを行う場合、絶対にお手持ちの Windows7 のシステムディスクを使用してのメディアリカバリは行わないでください。

こちらを行った場合、ハードディスク内のリカバリ情報が削除されてしまい、その後ハードディスクからのリカバリは行えなくなります。また、作業途中で気付いてキャンセルを行った場合でも、リカバリを行えなくなる状態になる場合があります。

仮に行ってしまった場合、Windows7 のシステム本体は動作しますが、製品に対応したデバイスドライバのインストールができないため、正常な状態ではご使用いただけません。

リカバリ作業を行うと、ハードディスク内にあるデータはすべて消去され、ご購入当初の状態に戻ります 。必要なデータなどがあれば、事前にバックアップを取ってから作業を行ってください。また、「ディスクの管理」でハードディスク内に別途パーティションを作成してご使用の場合、リカバリ時にはシステム領域（C ドライブ）だけでなく、他のパーティションも消去されますのでご注意ください。

リカバリの手順

step 1 リカバリツールを起動します。

「F3」キーを押します。

step 2 リカバリ設定を行います。

「ハードディスクリカバリ（完全）」をクリックします。

「はい」をクリックします。

ワンポイント

キーボードの入力タイミングが遅いと、通常の OS が起動します。
電源投入段階から、断続的にキーを押すことで、スムーズにリカバリ画面に移行できます。

「はい」をクリックします。

リカバリ中です。暫くお待ち下さい。

step 3 Windows7 インストール中です。

インストール中、何度か再起動がかかります。何もボタンを押さずにお待ちください。

ワンポイント

リカバリ完了までに、15分ほどかかります。

注意

Windows7 インストール中は操作を行わない。

リカバリ完了後、Windows7 のインストールが開始されます。Windows7 のインストールが開始されると、途中画面が切り替わりながらパソコンが再起動します。次項「言語設定」の画面が現れるまで、キーボード・マウスの操作を行わずにそのままお待ちください。

step 4 Windows7 の設定画面が表示されます。

この後の操作は、メディアリカバリの場合と同じになりますので、78 ページの「step20」をご参照いただき、引き続き作業を行ってください。

尚、メディアリカバリの最後にサプリメントディスクのインストールの文がありますが、ハードディスクリカバリの場合には、こちらは必要ありません。

SECTION 6

Windows7 のメディアリカバリ

システムの復元でも回復できないような致命的な問題が Windows 上に発生した場合、Windows を再インストールすることで問題を解決します。

チェックポイント
- ☑ Windows7 の再インストール
- ☑ デスクトップ上に「サプリメントディスク バックアップ」のアイコンが存在する場合、バックアップをとってから再インストールを行う（19 ページ参照）。

※注意※

Windows7 の再インストール作業を行うと、ハードディスク内にあるデータはすべて消去されます。必要なデータなどがあれば、事前にバックアップを取ってから作業を行ってください。

step 1 電源を投入し、「Enter」キーを連打します。 DSP OEM

Press any key to boot from CD or DVD..._

「Windows7 インストール DVD」をパソコンに挿入しておきます。

「Press any key to boot from CD or DVD･･･」と表示されているときに【Enter】キーを連打します。

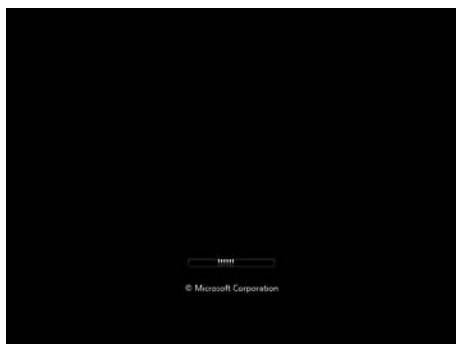
注意

起動直後の画面は、パソコンの本体構成により異なる場合があります

ワンポイント

DSP OEM の表記

DSP ディスク添付製品の場合は DSP の手順に、OEM 添付製品の場合は OEM の手順に従い、インストールを行って下さい。

step 2 インストールの初期設定が始まります。 DSP OEM

インストールの初期設定が完了するまで、しばらくお待ちください。

注意

ブートデバイスの順番設定

機種によっては、BIOS 画面にてブートデバイスの変更を行う必要があります。「CD/DVD」デバイスがブートデバイスの一番に設定されているかを確認してください。

step 3 インストールする言語を選択します。 DSP

インストールする言語を選択します。通常は変更の必要はありません。

「次へ」をクリックします。

step 4 インストールを実行します。 DSP

「今すぐインストール」をクリックします。

step 5 OS の bit を選択します。 OEM

インストールする bit を選択してください。

OS 動作上での bit の切り替えはできません。再度変更する場合には、OS 再インストールを行う必要があります。

出荷時の設定から 32/64bit を変更した場合の動作保証は行っておりません。bit 数を変更することにより、システムが認識するメモリ容量、アプリケーション・周辺機器などの動作が変わる場合がございます。

ワンポイント

DVD から Windows7 セットアップを起動する

Windows7 のインストールは、専用のインストール DVD から行います。パソコンを起動する前にインストール DVD を入れておき、パソコンを起動した直後に、「Press any key to boot from CD or DVD･･･」と表示されているときに「Enter」キーを連打すると、インストール DVD から Windows7 セットアップ画面が起動します。Windows7 が通常通り起動してしまった場合、「Enter」キーを押すタイミングがずれていた可能性があるので、Windows7 を再起動し同じ操作を試してください。

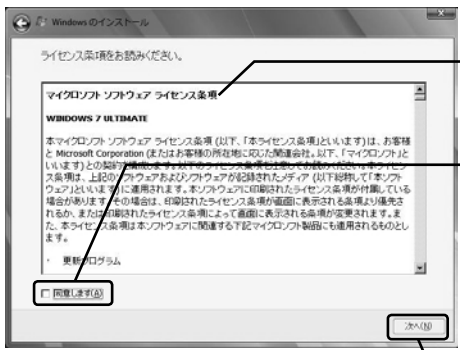
ワンポイント

bit について

OS の動作機構を示すものです。既存の OS は 32bit（x86）で、こちらを選択すると既存アプリケーションが使用できますが、4GB 以上のメモリを認識できません。

64bit（x64）では 4GB 以上のメモリを認識でき、64bit に最適化されたアプリケーションでは高パフォーマンスを発揮できますが、アプリケーションによっては動作しない・不具合が出るなどの問題が発生する場合があります。

お使いのアプリケーションの対応状況をご確認の上、ご選択ください。4GB 未満のメモリ搭載のパソコンで、アプリケーションの対応状況がご不明な場合には 32bit（x86）をご選択ください。

step 6 ライセンス条項に同意します。 DSP

1 マイクロソフトのライセンス条項を読みます。

2 「同意します」をクリックして、チェックを入れます。

3 「次へ」をクリックします。

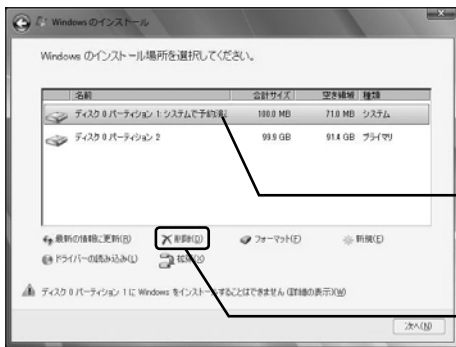
step 7 インストールの種類を選択します。 DSP

「新規インストール（カスタム）」をクリックします。

step 8 「ドライブオプション」を表示します。 DSP OEM

Windows のインストール場所を選択します。まずは Windows をインストールするパーティションを初期化するために、「ドライブオプション」を表示します。

「ドライブオプション」をクリックします。

step 9 システム領域のパーティション情報を削除します。 DSP OEM

「ディスク 0 パーティション 1」のパーティション情報を完全に削除します。

1 上の領域をクリックします。

2 「削除」をクリックします。

ワンポイント

パーティションとは

ハードディスク全容量もしくは、任意の容量で区切られた領域を「パーティション」と呼びます。一台のハードディスクを複数の領域に区切って、あたかも複数台のハードディスクがあるかのように利用することができます。

パーティションが複数あるPC の場合は、この中の一つのパーティションに Windows7 をインストールすることになります。

step 10 「削除」の確認を行います。 DSP OEM

本当に現在のパーティションを削除しても良いかの確認が行われます。

「OK」をクリックします。

注意

パーティションの削除

パーティションの削除とは、フォーマット（初期化）作業では削除出来ない領域の情報（パーティション）を削除することです。

パーティションの削除を行わなくとも、「フォーマット」を行う事でそのパーティションに記録されたデータは消去されますが、パーティションの削除を行った場合でもデータの消去は行われます。

step 11 OS がインストールされていた領域を選択します。 DSP OEM

下の領域をクリックします。

ワンポイント

パーティション番号

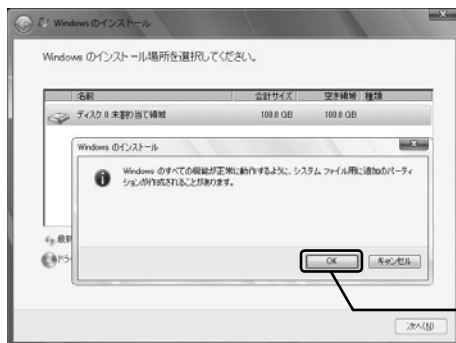
パーティションの番号は同じディスク内のパーティションに付けられる通し番号です。先に作成されたパーティションから順番に自動付けられますが、すでに作成されているパーティションを削除した場合、削除したパーティションは番号が付かない「未割り当て領域」となり、以降のパーティションに付けられた番号が詰められます。

step 12 パーティションの削除を行います。 DSP OEM

step 13 「削除」の確認を行います。 DSP OEM

step 14 パーティションを作成します。 DSP OEM

step 15 パーティションの容量を設定します。 DSP OEM

step 16 システム用パーティション作成に了承します。 DSP OEM

step 17 Windows7 のインストール先を選択します。 DSP OEM

ワンポイント

パーティションの容量について

1つのパーティション（Windows7 上ではドライブ）の容量を設定します。初期状態ではパーティションに設定可能な全容量が指定されていますので、そのまま「適用」をクリックしてください。

パーティション分割を行う場合には、Windows7 をインストールするパーティション用に任意の容量を設定してください。

step 18 インストール開始します。 DSP OEM

Windows7 のインストールが開始されます。

完了後、自動で再起動が行われます。

注意
Windows7 インストール中の DVD 起動画面について

Windows7 のインストール中、何度か再起動を行います。その際にこの画面が表示されることがありますが、操作は行わないで下さい。

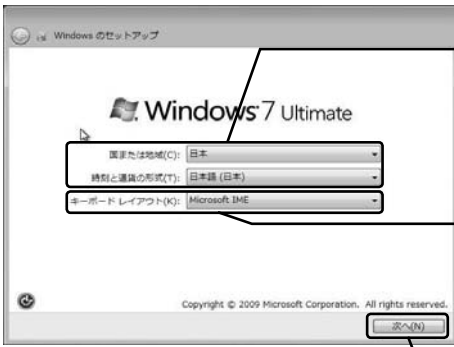
STEP1 と同じ操作を行った場合、Windows7 のインストールが中断されます。

step 19 Windows7 インストール中です。 DSP OEM

インストール中、何度か再起動がかかります。何もボタンを押さずにお待ちください。

注意
Windows7 インストール中は操作を行わない。

Windows7 のインストールが開始されると、途中画面が切り替わりながらパソコンが再起動します。次項「ユーザー名とコンピューター名」の画面が現れるまで、キーボード、マウスの操作を行わずにそのままお待ちください。

step 20 地域情報・キーボードレイアウトを設定します。 DSP OEM

1 「日本」の設定になっていることを確認します。

2 「Microsoft IME」になっていることを確認します。

3 「次へ」をクリックします。

ワンポイント
地域設定・キーボードレイアウトについて

Windows7 動作上の言語などを設定します。通常、表示されたままの状態で進行していただくことで、日本語でご使用いただけます。

step 21 ユーザー名とコンピューター名を入力します。 DSP OEM

1 「ユーザー名」を入力します。

2 「コンピューター」を入力します。

3 「次へ」をクリックします。

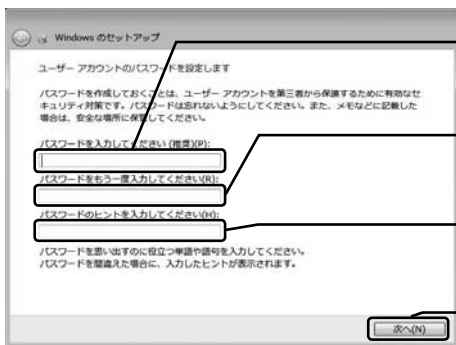
ワンポイント

ユーザー名

Windows7 上で、個人を示す登録名です。お気に入り・ライブラリ等、個人別のデータはユーザー名の管理下に保存されます。

コンピューター名

Windows7 上で、主に複数台のパソコンをネットワークで接続した際に、識別するための登録名です。特別設定をしない場合には、初期の名称のまま変更の必要はありません。

step 22 パスワードを入力します。 DSP OEM

1 パスワードを入力します。

2 確認のためパスワードをもう一度入力します。

3 パスワードのヒントを入力します。

4 「次へ」をクリックします。

パスワードを忘れてログイン出来なくなった場合、Windows7 の再インストールが必要になります。

ワンポイント

パスワード

Windows7 にログインする時に入力する認証文字列です。半角英数字のみ登録可能です。未設定でご使用可能ですが、不特定多数のユーザーが使用出来ないようにパスワードの設定を行って下さい。

パスワードのヒント

パスワードを忘れた時に、ログイン画面に表示されるヒントを入力します。尚、パスワード設定時は入力必須となります。

step 23 プロダクトキーを入力します。 DSP

Windows のセットアップ

Windows のプロダクト キーを入力してください

プロダクト キーは、Windows のパッケージに同梱されているラベルに記載されています。コンピューターの筐体にラベルが貼付されている場合もあります。ライセンス認証を行うと、プロダクト キーとコンピューターが関連付けられます。

プロダクト キーは次のような形式です:

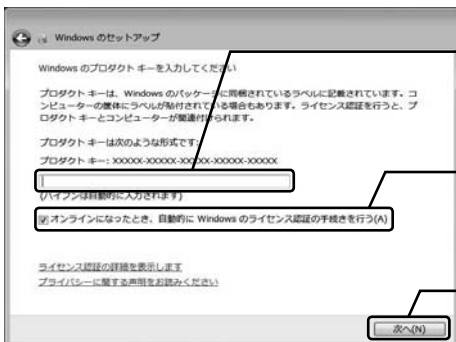
プロダクト キー: XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX

(ハイフンは自動的に入力されます)

☑ オンラインになったとき、自動的に Windows のライセンス認証の手続きを行う(A)

ライセンス認証の詳細を表示します

プライバシーに関する声明をお読みください

次へ(N)

1 「プロダクトキー」を入力します。

2 クリックしてチェックを入れます。

3 「次へ」をクリックします。

Windows7 を正式に使用する為の鍵となる文字列です。OS インストールモデルの場合、デスクトップは本体左面に、ノートは本体底面に貼付されています。

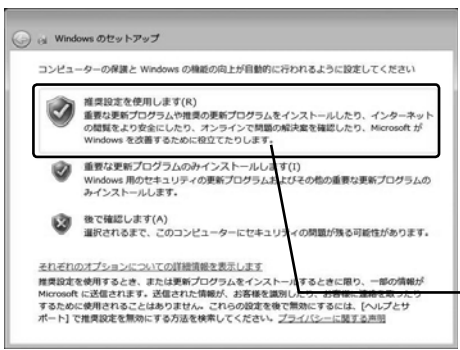
ワンポイント

プロダクトキーの入力について

プロダクトキー入力時には誤った登録を行わない様、特に間違い易い文字については予め入力出来ない様になっており、故障ではございません。

入力出来ない文字に関してはプロダクトキー内でも使用されておりませんので、入力している文字が表示されない場合には、プロダクトキーを見直してください。

尚、OEM ではプロダクトキーの入力画面は表示されず、ライセンス認証の画面が表示されます。

step 24 コンピューターの保護設定を行います。 DSP OEM

「推奨設定を使用します」をクリックします。

step 25 日付と時間の設定を行います。 DSP

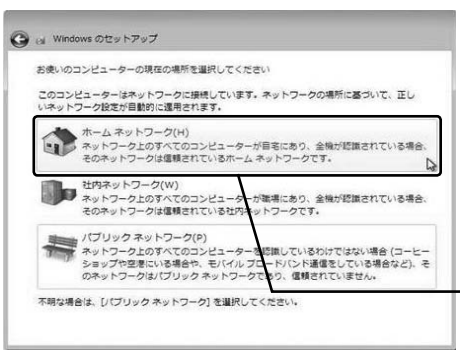
1 現在の設定になっているか確認します。

2 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

日付と時刻の設定

パソコン内部の時計の設定を行います。通常は設定の変更はありません。また、Windows7 のデスクトップ上でも設定の変更は可能です。

step 26 コンピューターの設置場所を選択します。 DSP OEM

「ホームネットワーク」をクリックします。

step 27 ネットワーク設定中です。 DSP OEM

暫くお待ち下さい。

step 28 インストール最終処理中です。 DSP OEM

最終処理を行っています。暫くお待ち下さい。

step 29 Windows7 が起動します。

Windows7 が起動します。 OEM では弊社指定の壁紙が表示されます。

引き続き、各種ドライバ・アプリケーションのインストールを行ってください。

ワンポイント

Windows7 インストール作業終了後は、製品添付のサプリメントディスク等のドライバディスクから、各種ドライバのインストール作業を行ってください。

「ドライバ」とは
パソコンに搭載されている基盤の各機能及び、各ハードウェアを Windows7 上で認識・動作させるためのソフトウェアです。

購入時に、グラフィックボード・TV キャプチャーボードなどを追加されている場合は、それらに付属しているドライバディスクより、併せてドライバのインストールを行ってください。

ドライバインストールの終了後は、DVD/Blu-ray 等の光学ドライブに関連するアプリケーションのインストールを行ってください。

CHAPTER 5

サポートセンター

お問い合わせの概要

技術的なお問い合わせは弊社サポートセンターにて承ります。製品の取扱方法に関する質問やトラブル発生時の問題解決をお手伝いします。ただし、お問い合わせ内容によっては問題が解決できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■ サポートセンターに連絡する前に

トラブルが発生した場合、サポートセンターに連絡する前に弊社ホームページ「ユーザーサポート」ページをご覧ください。

マウスコンピューター　ユーザーサポートページ
https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support2/sc_index.asp

■ サポートセンターに問い合わせる

サポートセンターではトラブル発生時の問題解決にあたり、最も適切な処置を行うため以下のような作業をお願いしております。お手数ですがご協力お願いします。

- ・使用環境の一時的な変更
- ・増設機器の一時的な取り外し
- ・ソフトウェアの一時的なインストール / アンインストール
- ・ハードディスクの初期化
- ・オペレーティングシステム（OS）の再インストール

■ お問い合わせ方法

サポートセンターへは、電話・メール・FAX でお問い合わせができます。

※お問い合わせ前にご確認ください※
お問い合わせの際は、迅速なサービスのご提供のために「製品シリアル番号」のご確認をお願いいたします。
製品保証書およびパソコン本体側面 (ノート製品の場合は底面) に貼付されております。

お問い合わせ先

■ お電話でのお問い合わせ

お電話でのお問い合わせは以下へご連絡ください。

マウスコンピューター　サポートセンター

TEL ： 0570-05-1105　※ 通話料はお客様負担になります。

受付時間 ： 24 時間受付

光電話・IP フォンご利用のお客様

TEL ： 03-6673-2299　※ 通話料はお客様負担になります。

受付時間 ： 24 時間受付

※ 曜日やお時間帯によって繋がりにくい場合があります。

■ メールでのお問い合わせ

ホームページ専用受付フォームにて、いつでもお問い合わせをすることができます。

サポート問い合わせフォーム

https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support/e_sup1.asp

受付時間 ： 24 時間受付

■ FAX でのお問い合わせ

FAX の送付先につきましては、弊社ホームページをご確認いただくか、サポートセンターまでご連絡ください。

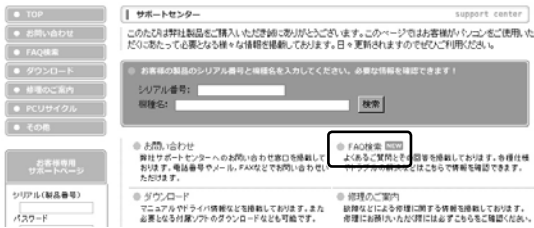
FAQ の使い方

良くあるご質問へのご回答を、ホームページ上でご用意しています。

■ アクセス方法

インターネットブラウザから弊社ホームページ（http://www.mouse-jp.co.jp/）までアクセスしてください。その後、トップメニューから「サポートセンター」をクリックします。

※ 2011 年 1 月 1 日現在のものです。
画面は変更となることがあります。

「FAQ 検索」をクリックします。

FAQ のコーナーにアクセス出来ます。

■ FAQの使用方法

用途に応じて検索方法をクリックします。

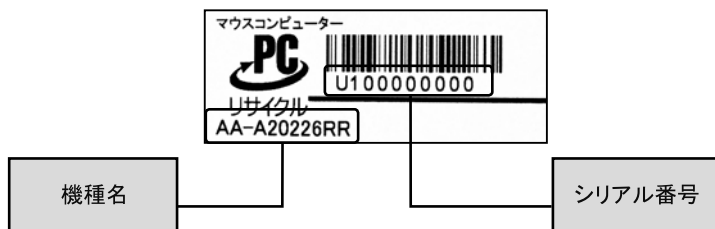
●カテゴリ検索

お客様のパソコンに現在発生している状況から改善方法を調べる場合にご使用ください。こちらをクリックすると症状別に項目が分けられていますので、近い症状をクリックしてください。尚、「web故障診断システム(94ページ)」も併せてご利用ください。

●フリーワード検索

エラーメッセージや調べたい状況の詳細が判明している場合にご使用ください。こちらをクリックすると文字を入力出来る枠が表示されますので、調べたい単語等を入力後「検索」をクリックしてください。尚、任意でOSや内容の種類で絞込みが可能です。

●ダイレクトFAQ検索

製品のシリアル番号と機種名を入力することで、お客様の製品に関連するFAQのみを抽出することが可能です。シリアル番号・機種名に関しては、デスクトップパソコンは本体左面（横置き可能な機種は縦置き時の表記となります）、ノートパソコンは本体底面に貼られているバーコードのシールをご確認ください。

●新着FAQ

新たに追加されたFAQの情報が10件まで確認出来ます。

ユーザー登録を行う

弊社へのユーザー登録は、下記のいずれかの方法をお選びいただけます。お客様の環境に合わせてご利用可能な方法でお手続きを行ってください。

■ インターネット

弊社ホームページから「サポートセンター」をクリックし、「ユーザーサポート」ページに進んでください。その後「ユーザー登録へ」をクリックし、「ユーザーサポート登録ページ」へ進み、こちらより登録を行ってください。

http://www.mouse-jp.co.jp/

※ 2011 年 1 月 1 日現在のものです。
画面は変更となることがあります。

■ お電話

本冊子冒頭のサポートセンター問い合わせ窓口までご連絡ください。
※ 必ずパスワード (半角 8 文字以上 16 文字以内、英数字と「-（ハイフン)」）を事前に決めてからお電話ください。

■ FAX

次頁のユーザー登録フォームをコピーしていただき、必要項目をご記入の上、 用紙の記載先までお送りください。

※重要※
当社は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法第 57 号）」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン (平成 16 年厚生労働省経済産業省告示第 4 号)」に準拠して、お客様、および株主様の個人情報（以下、「個人情報」といいます）について、取扱いを定めて、適切な保護を行います。 下記 URL の内容をご覧いただいた上でユーザー登録を行ってください。

【個人情報保護方針】 URL → http://www.mouse-jp.co.jp/privacy/

ユーザー登録を行っていただくと

ユーザーサポートページで以下のサービスがご利用いただけます。

■ サポート電話予約

お客様のご都合の良い時間帯にお電話を差し上げます。

■ PC 本体構成を表示

ご購入のパソコン本体の内部構成がご覧いただけます。

■ 修理ステータス

修理に出した商品の修理・出荷状況・作業報告をご覧いただけます。

その他、製品のサポート情報やキャンペーン情報などのご提供を行っております。

※登録情報についての諸注意※

- 登録された情報は株式会社マウスコンピューターが所有するものとします。
- ユーザー様の情報は株式会社マウスコンピューターによって下記目的のみ使用します。

1. 製品保証・修理などに関するユーザーサポートのご提供
2. 商品やサービス・その他キャンペーン情報のご案内
3. 商品に対するご意見ご提供のお願い・アンケート依頼など
4. 商品開発に使用する統計資料の作成

- 上記以外の目的に使用する場合、およびユーザー様を特定することができる情報の第三者への開示につきましては、必ず事前に本人の承諾を要するものとします。

ユーザー登録フォーム（FAX/ 郵送用 ）

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お客様により良いサポートをご提供するために、ユーザー情報をご登録ください。

サインペンなどではっきりとご記入ください。
（ 不鮮明な場合は登録を承ることができません ）

■ シリアルシール見本 ■
製品保証書およびパソコン本体に添付されています。

U100000000
0604Lm-i999SP1-T9A(P999/512

＊の項目は必須です。

製品シリアル番号（U10 ～から始まる番号）	＊
お買い上げ機種名	＊ <半角 30 文字以内>
フリガナ	
会社名（ 法人様の場合 ）	<全角 35 文字以内>
フリガナ	
お名前（ご担当者名）	＊ <全角 35 文字以内>
郵便番号	＊ －
ご住所 / マンション・建物名	＊
電話番号	＊ － － FAX 番号 － －
メールアドレス（ ※携帯電話不可 ）	<半角 50 文字以内>
購入経路	＊ Web ・ 電話 ・ 直営ショップ ・ パソコンショップ / 量販店等 ・ 譲渡 その他（ ）
パスワード設定（ 英数字 8 文字以上 ）	＊ <半角 16 文字以内>

※ ひらがな、カタカナ、スペース、記号などは使用できません。

【FAX 送付先】

弊社ホームページをご確認いただくか、サポートセンターまでご連絡ください。

【郵送先】

〒 344-0063 埼玉県春日部市緑町 6-9-21
株式会社マウスコンピューター サポートセンター 宛

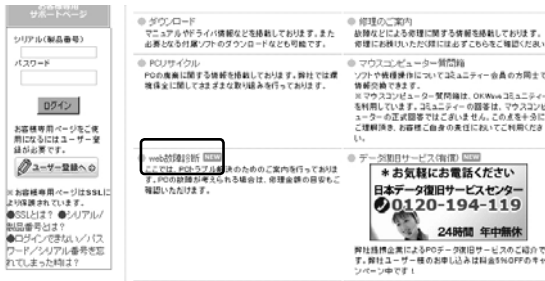
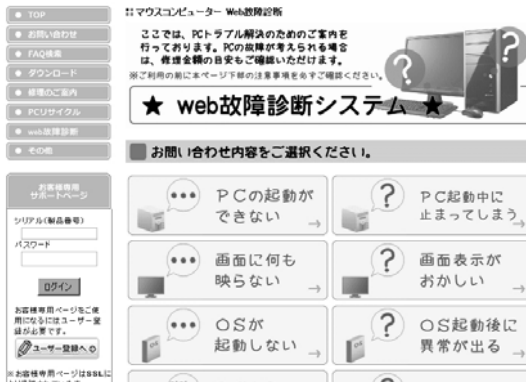
web 故障診断システムの使い方

故障が予測される内容についてご確認頂けるシステムを、ホームページ上でご用意しています。また、実際の修理が必要になる場合の、修理金額の目安もご確認いただけます。

■ アクセス方法

インターネットブラウザから弊社ホームページ（http://www.mouse-jp.co.jp/）までアクセスしてください。その後、トップメニューから「サポートセンター」をクリックします。

※ 2011 年 1 月 1 日現在のものです。
画面は変更となることがあります。

「web 故障診断」をクリックします。

web 故障診断システムのコーナーにアクセス出来ます。

■ web 故障診断システムの使用方法

発生している症状内容を選択します。

⇩

症状の原因を究明するためのご確認事項が表示されますので、発生している状況に合わせて項目を選択します。

⇩

いくつかのご確認を行って頂くことで、診断結果が表示されます。弊社での修理が必要となり、有償でのご対応となる場合の目安となる金額も表示されます。

修理に関する内容は、次ページをご確認ください。

修理の概要

購入された製品にトラブルが発生し、修理が必要となった場合はお預かり修理、または出張修理（オプション）にて修理を実施します。

■ 各種修理サービス

修理につきまして、以下の実施方法があります。詳細につきましては後述をご参照ください。

- 保証内修理 (無償修理)
- 保証外修理 (有償修理)
- ピックアップ修理
- オンサイト修理
- アップグレード

■ 修理依頼方法

サポートセンターでは電話・メール・FAX にて修理受付を行っています。修理が必要となった場合には、後述のいずれかの方法にて修理をご依頼ください。

マウスコンピューター　サポートセンター
TEL　：0570-05-1105　※ 通話料はお客様負担になります。
受付時間：24 時間受付
光電話・IP フォンご利用のお客様
TEL　：03-6673-2299　※ 通話料はお客様負担になります。
受付時間：24 時間受付

メール：https://www2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support/e_sup1.asp
受付時間：24 時間受付

■ お送りいただくもの

・パソコン本体 (※ 1)
・製品保証書 (※ 2)
・パソコン本体付属品 (※ 3)
・修理依頼シート (※ 4)

※ 1 パーツのみの場合は該当のパーツ
※ 2 コピーでも可。ない場合はレシート等の購入時期の確認できるもの
※ 3 OS・ドライバ CD・マニュアル等、小箱に入っていたもの
※ 4 本冊子・巻末の修理依頼シートをコピーしてご使用ください。

修理に関する注意事項

■ 製品送付時には

修理を行う際は故障箇所を特定するため、本体に内蔵されているオプション機器や部品を一式送付ください。故障原因が判明せずに修理が行えない場合があります。また、キーボード・マウス・スピーカーなどが故障の現象と直接関係ないと思われる場合は、同梱していただく必要はありません。

■ 梱包について

運送中の破損を避けるため、必ず製品納品時の梱包箱および梱包材ををご利用ください。納品時以外の箱を利用する場合、内部梱包材には新聞紙を丸めたものなどを使用し、運送中の衝撃を吸収できるようできる限り厚めに梱包してください。
※ 運送時に梱包が原因で破損した場合、有償でのご対応になりますのでご注意ください。

■ 送料について

センドバック（送料相互負担）方式を採用させていただいておりますので、恐れ入りますが、発送時の送料はお客様にてご負担くださいますようお願いいたします。ご返送時の送料は弊社にて負担させていただきます。

着払いでのお荷物はお受け取りできかねます。
ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

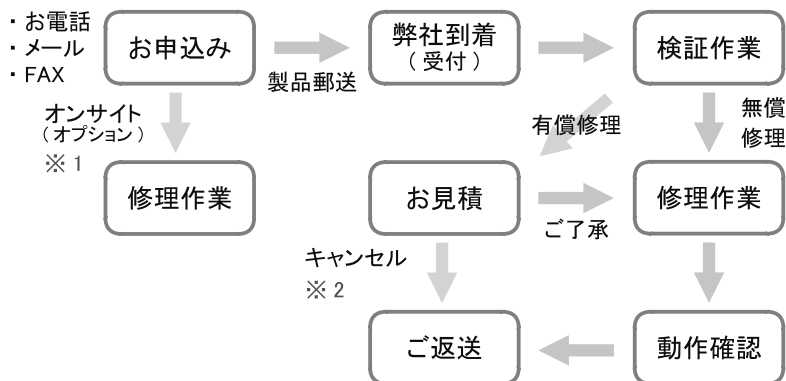
■ データ保全について

修理センターではハードディスク内のデータの保全は行いません。修理の内容によってはハードディスクの初期化を行います。修理の過程で生じたデータの消失に対し、弊社は一切責任を負いかねますので、修理のご依頼の前に必ずデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。また、ハードディスク内のデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめいたします。

≪修理品の送付先≫

〒 344-0063　埼玉県春日部市緑町 6-9-21
株式会社マウスコンピューター　サポートセンター　宛
TEL：0570-05-1105

修理の流れ

修理の流れです。

※1 オンサイト修理サービスのご利用には、製品ご購入時のお申し込みが必要です。
ご購入後にこのサービスを追加することはできません。ご了承ください。
※2 お見積には症状確認のため技術手数料が発生します。
修理キャンセルの場合でも上記手数料がかかりますのでご了承ください。

※ご注意※
■ 梱包時の箱はご購入時のものをご利用いただくか、お客様にてご用意ください。
■ 着払いはお受けできません。送料元払いにてお送りください。
■ 本冊子巻末にあります「修理依頼シート」をコピーしていただき、ご記入の上、製品に同梱してください。

初期不良について

■ 初期不良期間

製品到着日より1ヶ月までとなります。1ヶ月経過後は「無償保証期間」へ自動的に移行します。

■ ご対応の内容

初期不良期間内における製品の不良・故障等の症状が認められた場合、弊社負担にて回収（ピックアップ）・修理等を行います。

※ご注意※
誤品・欠品・運送破損等のご対応は初期不良期間内のみとなります。初期不良期間を超えての誤品・欠品・運送破損等のご対応は弊社サポート対象外となります。

ピックアップ修理

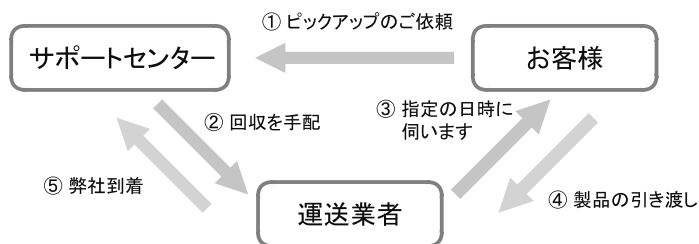
■ ピックアップ修理とは

弊社サポートセンターにご連絡いただき、修理の必要があると判断した場合には、下記サービス対象に該当する場合のみ弊社指定業者がお客様の指定した場所に製品を引き取りに伺います。その際、接続しているケーブル類は全て外し、製品納品時の梱包箱に収めてお渡しください。お預かりした製品は、修理センターで修理等を行ったのち、ご返送いたします。

※ ピックアップサービス対象は以下となります。
1. ピックアップサービスに加入されている場合
2. 初期不良期間内の不具合の場合
3. 修理ご返却後 1 ヶ月以内に同じ不具合が再発した場合

※ ピックアップ可能日時は、ご連絡をいただいた翌日の午前以降となります。
ただし、ご連絡いただいたお時間によっては翌々日以降となることがあります。

※ご注意※ このサービスのご利用には、製品ご購入時のお申し込みが必要です。ご購入後にこのサービスを追加することはできません。ご了承ください。

■ 回収までの流れ

有償修理・アップグレード

保証期間終了後の修理や、お客様責による故障の修理は有償となります。また、メモリ・ドライブなどパーツの増設・OS インストール作業等もサポートセンターにて代行致します。

■ 有償修理

保証期間外などの有償修理の場合には、以下の費用がかかります。
・修理代金（※）
・送付時の送料

※ 修理作業の内容によって異なります。

■ アップグレード

アップグレードの場合には、以下の費用がかかります。

・パーツ代金（※）
・作業手数料
・送付時の送料

※ 増設するパーツによって異なります。サポートセンターにてご確認ください。

※ご注意※
・お見積後に修理をキャンセルされた場合、キャンセル料金（症状確認のための技術手数料）がかかります。料金につきましては、製品によって異なります。
・修理費用、キャンセル料金のお支払いは、原則代金引換となります。その他のお支払い方法につきましては、サポートセンターにご相談ください。

オンサイト修理サービス（オプション）

オンサイト修理サービスとは、製品にハード的な不具合が発生した場合、オンサイト技術者が伺い、不具合部品の交換を行う出張修理サービスです。

※ご注意※
このサービスのご利用には、製品ご購入時のお申し込みが必要です。ご購入後にこのサービスを追加することはできません。ご了承ください。

■ 以下の場合、オンサイト修理サービスはご利用できません。

・ソフトウェア不具合の場合
・どのパーツの不具合であるか特定できない場合

※ オンサイト修理サービスにおける諸注意 ※

・お取替えするパーツは、必ずしも同じ製品とは限りません。
・ハードディスクを取り替える場合、データは初期化されます。
・お客様による増設パーツの補償はできません。増設パーツはあらかじめ取り外してください。
・日程につきましては、サポートセンターにご相談ください。
・作業時間は 1 ～ 2 時間程度です。
・地域によってはパーツを発送する関係上、日数をいただく場合があります。
・その場での改善が困難である場合、お預かりさせていただくことがあります。

PC リサイクル

■ データに関するご注意

ハードディスク内の個人情報など重要なデータは、お客様自身の責任にて保存・消去などの処置を施してください。

■ パソコン回収サービスのご案内

各種リサイクルに関する法律の施行に伴い、お客様に安心してご購入いただけるよう、ご不要となったパソコンの回収活動を行っております。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

http://www.mouse-jp.co.jp/company/eco/

～ パソコン回収の流れ ～

パソコンの種類の確認

・デスクトップ PC
・ノートブック PC
・CRT ディスプレイ(※)
・液晶ディスプレイ(※)

※ご注意※
国内メーカー製モニタは、弊社ではお申し込みいただけません。回収をご希望の際には、お手数ですが各メーカーへ直接お問い合わせ下さい。

PC リサイクルマークの有無の確認

※ PC リサイクルマークが貼付されていない場合や、はがしてしまった場合は、以下のリサイクル費用がかかります。(別途、振込手数料が必要です)

・デスクトップ PC	¥3,150-(税込)
・ノートブック PC	¥3,150-(税込)
・CRT ディスプレイ	¥4,200-(税込)
・液晶ディスプレイ	¥3,150-(税込)

PC リサイクルのお申し込み

※ 弊社ホームページ(上記 URL)よりお申し込みください。
※ お申し込みには、製品シリアル番号が必要です。
※ 有料の場合は、入金のご案内メールが届きます。

パソコンの梱包

弊社より、ゆうパック伝票を送付させていただきます。こちらをご利用いただき、最寄の郵便局にお持込いただくか、ゆうパック伝票に記載がある郵便局のお電話番号にご連絡いただき、回収のご手配をお願いいたします。

※ 1 梱包の重量は 30Kg まで
※ 梱包の縦×横×高さの合計は 1.7m 以内
※ 同梱可能なもの : マウス・キーボード・スピーカー・ケーブル

パソコンの回収

※ご注意※
法人のお客様の場合、リサイクルの手続きが異なります。詳しくは弊社ホームページ(上記 URL)をご覧ください。

記入例

修理依頼シート

株式会社マウスコンピューター　サポートセンター

修理依頼の際は、本書に必要事項をご記入の上、修理依頼品に添付してください。
ご記入がもれている場合、修理にお時間がかかる場合があります。

※ ご返送先の情報をご記入ください ※		ご記入日	2014　年　1　月　17　日
フリガナ	○○○○○	フリガナ	○○　○○○
会社名（法人様の場合）	株式会社　○○○○	お名前（ご担当者名）	○○　○○　様
フリガナ	○○○○　○○○○　○○○○○○○		
ご住所	〒 xxx−xxxx　※ 本住所は　☐自宅・☑会社・その他（　　　） ○○　都・道・府・県（県に丸）　○○○　区・市・郡（郡に丸）　○○町○○xx－xx－xx（　　様方）		
E メール	xxx@xxxxxxxx.co.jp		
ご希望のご連絡方法	☑ 一般電話：0000 − 00 − 0000 ☐ 携帯電話：　−　−	☐ FAX：　−　− ☑ E メール（上記枠内にご記入ください）	
ご希望の連絡時間帯	10:00 〜 12:00 ／ 12:00 〜 15:00（丸で囲む）／ 15:00 〜 18:00		

保証対象	☑ 保証外　○ 保証内 ※ 修理には保証書（コピー可）が必要になります。	ご購入日（商品ご到着日）	2011　年　10　月　22　日
修理代金限度額（保証外のみ）	（　20,000　）円までの修理は連絡不要。 ※ 限度額の範囲を超えてしまう場合は、弊社よりご連絡いたします。 ※ 修理料金のお見積後にキャンセルされますと、キャンセル料金がかかります。 お支払方法は代金引換払いとなります。あらかじめご了承ください。		
ハードディスクデータ初期化について	☐ 初期化に同意する ☑ 初期化に同意しない	弊社修理作業時にハードディスクの故障、もしくは OS のデータ破損を確認した場合の連絡の有無を選択してください。 → ☑ 要連絡 ※ 確認のお時間をいただくため、修理期間が長引く場合があります。あらかじめご了承ください。 → ☐ 連絡不要　修理作業を行わない ※ 不具合が改善されない状態での返送となります。データの保存状態に関しましては保証できません。	
BIOS でのパスワード	☑ 設定していない　☐ パスワード（　　）		
Windows ログオン時のパスワード	☐ 設定していない　☑ パスワード（ mousecomputer ）		
製品型番	1110Lmi205	シリアル（U10 〜）	U131446xxx
使用 OS	Windows7	使用ソフト	Microsoft Word, Excel
周辺機器	プリンタ		
不具合内容（調査希望箇所など）	いつ頃、常時発生しているかどうか、どのような操作で、どのような状態かをわかる範囲でご記入ください。 昨日までは問題なく使用できていたが、今朝からパソコン本体の電源ボタンを押しても電源が入らなくなった。主電源スイッチの確認、電源ケーブルの挿し直しを試したが改善しなかった。		

MCO061207-01YSHO

修理依頼シート

株式会社マウスコンピューター　サポートセンター

修理依頼の際は、本書に必要事項をご記入の上、修理依頼品に添付してください。
ご記入がもれている場合、修理にお時間がかかる場合があります。

※ ご返送先の情報をご記入ください ※		ご記入日	年　月　日
フリガナ		フリガナ	
会社名（法人様の場合）		お名前（ご担当者名）	様
フリガナ			
ご住所	〒　※ 本住所は □自宅・□会社・その他（　） 都・道 府・県　区・市 郡　（　様方）		
E メール			
ご希望のご連絡方法	□ 一般電話：　-　- □ 携帯電話：　-　-	□ FAX：　-　- □ E メール（上記枠内にご記入ください）	
ご希望の連絡時間帯	10:00 ～ 12:00 ／ 12:00 ～ 15:00 ／ 15:00 ～ 18:00		

保証対象	○ 保証外　○ 保証内 ※ 修理には保証書（コピー可）が必要になります。	ご購入日（商品ご到着日）	年　月　日
修理代金限度額（保証外のみ）	（　）円までの修理は連絡不要。 ※ 限度額の範囲を超えてしまう場合は、弊社よりご連絡いたします。 ※ 修理料金のお見積後にキャンセルされますと、キャンセル料金がかかります。 お支払方法は代金引換払いとなります。あらかじめご了承ください。		
ハードディスクデータ初期化について	□ 初期化に同意する □ 初期化に同意しない →	弊社修理作業時にハードディスクの故障、もしくは OS のデータ破損を確認した場合の連絡の有無を選択してください。 □ 要連絡 ※ 確認のお時間をいただくため、修理期間が長引く場合があります。あらかじめご了承ください。 □ 連絡不要　修理作業を行わない ※ 不具合が改善されない状態での返送となります。 データの保存状態に関しましては保証できません。	
BIOS でのパスワード	□ 設定していない　□ パスワード（　）		
Windows ログオン時のパスワード	□ 設定していない　□ パスワード（　）		
製品型番		シリアル（U10 ～）	
使用 OS		使用ソフト	
周辺機器			
不具合内容（調査希望箇所など）	いつ頃、常時発生しているかどうか、どのような操作で、どのような状態かをわかる範囲でご記入ください。		

MCO061207-01YSHO

■ 保証規定

保証受付

1. 弊社では、弊社製造によるパーソナルコンピューター製品（以下「製品」といいます）に関するお電話、WEB フォーム、E-mail 又は FAX によるサポートを、24 時間受付けております。
2. 前条に定めるサポート受付につき、ご質問の内容によってはご返答が後日となる場合があります。
3. 弊社からのご返答は、年末年始及び弊社指定日を除く、月～土 9:00 ～ 18:00 の間のみとなります。
4. 弊社サポートスタッフが製品に修理が必要と判断した場合、センドバック方式（弊社サポートセンターへのご送付）、及びキャリーイン方式（弊社ダイレクトショップへの持ち込み）にて製品をお預かりいたします。
5. オンサイトサービス保守（有償）をご購入時にお申込みいただいた場合は、お客様のパソコンが稼動している場所まで弊社提携企業のサポートスタッフがお伺いいたします。（詳しくは下記参照）

保証手順

【1】通常サポート
A. 製品になんらかの不具合が生じた場合には、お電話、WEB フォーム、E-mail 又は FAX にて、弊社サポートセンターまで不具合状況をご連絡下さい。
B. 弊社サポートスタッフが製品に修理が必要と判断した場合、保証書・付属品（キーボード・マウス除く）・マニュアルに付属している修理レポートに詳細を明記したものを同梱の上、センドバック方式又はキャリーイン方式のいずれかにて弊社まで製品をご送付下さい。
C. センドバック方式にて製品を直接弊社サポートセンターへ送付される場合、発送費用はお客様ご負担（元払い）にてご送付ください。弊社着払いでの受け取りは行っておりません。
D. サポートセンターにて製品の修理完了後、お客様ご指定の場所へ製品を配送いたします（送料弊社負担）。また、ダイレクトショップでの受け取りも可能です。

【2】オンサイトサポート（製品購入時のみ有償申込のみ可、製品購入後の別申込は不可）
A. 製品に同梱されている指示書に従い、お電話、FAX、又は E-Mail にて弊社サポートセンターまで不具合内容をご連絡下さい。
B. お客様のパソコンが稼動している場所まで　弊社提携企業のサポートスタッフがお伺いし、その場で修理・補修等を行います。なお、お伺いの日程・時間等については、お申込みの際に都度ご相談ください。
C. オンサイトサポートの対応可能範囲、及び費用負担等に関する詳細条件は、有償申込時における申込書記載のとおりとします。

保証内容

【1】保証期間について
A. 保証期間は製品到着日より 1 年間となります。但し、購入時に延長保証サービス（有償オプション。以下「延長保証サービス」といいます）にお申込みいただいた場合には、それに準じた保証期間となります。なお、延長保証サービスへお申込みいただく場合には、別途「延長保証サービス利用規約」にご同意いただく必要がございます。
B. 商品到着日を証明できるもの（配送伝票・レシート等）を紛失された場合は、弊社出荷日より 1 年間の保証となります。
C. 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合は、弊社保証対象外となります。

【2】初期不良期間
A. 初期不良期間は、製品到着日より1ヶ月間となります。本期間経過後は、下記「無償保証期間」へ自動的に移行します。
B. 初期不良期間内における製品の不良・故障などの症状が認められた場合、弊社負担にて商品の回収・修理等を行います。
（回収手続きにつきましては弊社「引き取り修理サービス」に準じた対応となります）
C. 誤品・欠品・運送破損等の対応は初期不良期間内のみとなります。初期不良期間を超えての誤品・欠品・運送破損等の対応につきましては、無償保証期間における保証対応と同一とさせていただきます。

【3】無償保証期間
A. 製品の無償保証期間は、製品到着日より1年間とします。
B. 無償保証期間内の修理・補修費用及び返送費用は弊社負担にて行います。(弊社への製品発送費用はお客様ご負担となります)

【4】無償保証期間外
無償保証期間経過後における製品の修理に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。なお、有償修理時における製品の発送費用はお客様ご負担、返送費用は弊社負担となります。

【5】保証適用対象
A. 保証適用対象は、弊社工場出荷時、もしくは販売店でのご購入時における製品本体、及び本体に標準添付されたキーボード・マウス・スピーカー、並びに弊社指定保証対象の周辺機器に限られます。
B. 製品、弊社ブランド品、弊社保証対象以外の周辺機器(CRT・プリンターなど)は各メーカーの保証規定に準じます。
C. 製品にプレインストール・添付された OS 及びソフトウェア、各ハードウェアのドライバ使用上の不具合及びインストール方法、ならびに使用方法につきましては各メーカーでのサポートになります。

【6】保証の適用除外事項
次のような場合及び事項については、保証期間内であっても保証の適用外とします。なお、保証適用外の事由によって生じた製品の修理に関しては、理由の如何にかかわらず有償修理対応となります。
A. 保証書を紛失・改竄された場合。保証受付の際に提示なき場合。本保証書に必要事項が明記されていない場合。保証書にシリアルシールが貼付されていない場合。
B. 製品不具合発生の原因が、火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変、公害や化学薬品、異常電圧、害虫又は小動物の混入等の外部的要因による場合。
C. 増設部品の接触不良、設定の誤り、改造、弊社サポートスタッフの指示なくBIOS アップデートを行った場合、オーバークロック等の保証外動作を行った場合、製品運搬中の衝撃・振動等による故障・損傷の場合。
D. 落下や衝撃、強度の振動によって製品に故障又は損傷が生じた場合。
E. 製品の内部構成部品又は外装部品に、お客様の過失によるものと認められる故障又は損傷(液体又は異物混入等を原因とするものを含む)がある場合。
F. 弊社工場出荷時、もしくは販売店でのご購入時以外に増設・アップグレードされた製品及びソフトウェアに起因する不具合の場合。
G. 製品不具合発生の原因が、OS その他のソフトウェア・アプリケーションの仕様やバグ、Driver(ドライバ)や Bios(バイオス)の問題、弊社の責によらない公知のハードウェア特性上の問題等による場合。
H. お客様ご自身が組み込んだ OS 及びプログラム等に起因して製品に問題が発生した場合。
I. 通常とは異なる環境(電磁波・ノイズ・高温・低温・大量のほこり・タバコのヤニなどの環境)で使用し、これによって製品に故障又は損傷が生じた場合。
J. 100V 50/60Hz 以外の電源で製品を使用し、製品に故障又は損傷が発生した場合。
K. OA タップ等を経由して製品を稼動させる等、電源供給が不安定な環境において生じるソフトウェア及びハードウェア上の不具合。
L. 弊社指定以外の周辺機器等を製品に接続し、これによって製品に生じた故障又は損傷。
M. 製品を 24 時間以上連続使用し、これによって製品に故障又は損傷が発生した場合。
N. 消耗品又は有寿命部品(【9】に掲げるものをいいます)の自然消耗、磨耗及び劣化、又は使用頻度及び経過時間等、弊社所定の製品耐久基準を超えることによって生じた製品の故障又は損傷。
O. 製品の基幹構成部品(マザーボード、CPU、ケース、電源)が、工場出荷時の構成と異なる場合。
P. 譲渡・転売・中古販売・オークション等でご購入された場合。

【7】免責事項
A. いかなる場合においても、ハードディスク内に蓄積されたデータに関して、その保存及び保持は一切保証いたしません。
B. 製品を梱包していた外箱・内箱以外の梱包、弊社指定の梱包以外にて弊社まで製品をご送付いただいた際の、運送中における故障・損傷については、弊社は一切その責を負いません。
C. スタンドアローン(製品単体)の状態で製品が正常に起動・動作することが確認された場合には、お客様所有のハードウェア又はソフトウェア・アプリケーションとの組み合わせにおいて不具合が生じた場合であっても、弊社は一切その責を負わないものとします。
D. 弊社は、製品の修理時において、お客様に事前の予告なく、製品に使用される各種パーツを、出荷時のものと同等又はそれ以上の性能を有する異なるものに変更する場合(以下「上位交換」といいます)があります。上位交換により、対象 PC の一部機能が削除又は追加され、あるいは変化する場合がありますが、上位交換前にお客様が使用されていたハードウェア又はソフトウェア・アプリケーション等との互換性については、弊社は一切これを保証いたしません。

E. 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、製品の使用、又は使用不能から生ずる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害を含む）に関しては、弊社では一切の責を負わないものとします。
F. 製品及び弊社サービスに関して、弊社の責に帰すべき事由によりお客様に損害が生じた場合には、弊社は製品のご購入代金を上限として、その損害賠償責任を負うものとします。但し、その損害賠償の範囲は、現実に発生した直接かつ通常の損害に限るものとします。

【8】弊社取り扱いソフトウェア及び周辺機器を含む各パーツに関する注意事項
A. 弊社取り扱いソフトウェア及び周辺機器を含む各パーツは、工場出荷時における製品状態において動作することを目的としており、個々の仕様及びそのパフォーマンスを満たすことを目的としたものではありません。
B. ソフトウェアの正常動作は、必要とされる動作環境を満たしていること及び動作に関する機器への影響がない状態を前提条件とします。
C. ソフトウェアの仕様により、その動作環境を満たしている場合であっても、内部機器や他ソフトウェア、ネットワーク環境等の影響により、そのパフォーマンスが十分に発揮されない、又はその一部が使用できない場合があります。
D. 付属ソフトウェアのインストール、操作方法、動作、内容、及びそれに準ずるお問い合わせに対しては、弊社はその対応義務を負わないものとします。（同封又はメディア内に収録されたマニュアルをご参照の上、それぞれのソフトウェアメーカーまでお問い合わせ下さい。）
E. 付属ソフトウェアの所有権は、お客様に製品を引き渡した時点で同時に移転するものとします。
F. 弊社サポートスタッフの指示なく行われた増設・拡張・アップグレード及び、ソフトウェアのインストールが起因による損害に関しては、いかなる理由におきましても、弊社はその責を負いません。

【9】有寿命部品
製品には、下記に掲げる有寿命部品（有寿命部品とは、使用頻度や経過時間、使用環境により、摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生が困難となる部品をいいます）が含まれており、24 時間以上連続して製品を稼動させ、あるいは通常使用の範囲を超える温湿度条件下でのご使用等によりこれら部品の交換が必要となった場合には、標準保証の適用対象外となり、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
（主な有寿命部品一覧）
液晶モニタ（ノート PC 画面を含む）、ハードディスクドライブ、SSD、CD/DVD/Bru-lay ドライブ、バッテリー、電源ユニット等

【10】その他の注意事項
A. いかなる場合におきましても、修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
B. 特定の機能・使用方法（主にアプリケーションに起因する不具合）における動作保証は行っておりません。
C. お客様の判断により、不具合があると申告された場合であっても、弊社サポートスタッフが製品仕様の範囲内であると判断した場合、その不具合に対する保証対応を行わない場合があります。
D. お客様の御都合により、有料修理の撤回・キャンセルを行われた場合は技術作業料及び運送料を請求させていただきます。
E. 無償保証期間内であっても、弊社サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、及び製品仕様の範囲内と判断された場合には、技術手数料を請求させていただきます。
F. いかなる場合におきましても、センドバック方式以外（送料着払い・代金引換）で製品をご送付いただいた場合、製品の受け取りはいたしません。
G. 修理作業範囲内で必要な場合を除き、お客様のご要望により製品を工場出荷時状態に戻す際は、技術手数料を請求させていただきます。また弊社サポートスタッフが必要であると判断した場合、お客様への事前の許可なしに工場出荷状態に戻す場合があります。
H. ご購入時と同時にお申込いただいた場合を除き、いかなる場合におきましても出張修理・保証期間の延長受付・お申込は行うことはできません。
I. サポート対応の際に弊社サポートスタッフが必要であると判断した場合、製品に使用される各種パーツの上位交換をご案内する場合があります。
J. オンサイトサポートは、全ての不具合・症状においての適用を保証するものではありません。弊社サポートスタッフがオンサイトサポートでの対応が可能であると判断した場合のみの適用となります。オンサイトサポートが適用できない場合には、通常どおり弊社サポートセンターでの回収修理対応となります。
K. 24 時間電話サポート等、通常サポート時間外のお問合せに対しては、ご質問の内容により直ちにご案内が行えない場合があります。
L. 製品購入時のオプションサービスについての詳細は、弊社ホームページの記載又は同封されるサービス指示書をご覧ください。
M. 本保証規定は、日本国内において製品をご使用になる場合にのみ適用されます。

N. パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ保護に関する必要性に関しましては http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html をご覧下さい。
O. 液晶画面（セットモデルにおけるLCD モニタ・ノートPC 等、液晶が搭載されている全製品）における画素欠点（常時点灯・常時消灯・暗点・明点等のドット不良、ドット欠損など）は、技術上不可避なものであり、製品の不良ではございません。セットモデルにおけるLCD モニタに画素欠点が発生している場合には、一度製造メーカーにご相談ください。弊社は画素欠点における一切の責を負いかねます。
P． 無償又は有償を問わず、修理により交換した不良部品の所有権は、弊社に帰属するものとします。

【11】保証規定の変更
弊社は、本保証規定の内容を変更する必要が生じた場合には、事前の予告なく内容を変更することができるものとします。なお、お客様に対する変更事実の通知は、弊社ホームページ内における表示をもってこれに代えるものとします。

【12】発効日
本保証規定は、平成 23 年 3 月 1 日より発効するものとします。なお、本保証規定の適用対象は、発効日以降に製品をお買い上げいただいたお客様を対象とし、発効日より前にご購入いただいた製品に関する保証内容につきましては、ご購入時の添付された保証書面にてご確認ください。

110301 版

マカフィー® インターネットセキュリティ

90日間無料版のご案内

インターネットセキュリティで出来ること

一度インストールすれば、あとはおまかせ！さまざまなセキュリティアップデートを、全自動で対応。
困った時のサポート体制も万全！ウイルス、スパイウェア、スパム、フィッシング、個人情報漏えいなどの危険から、大切なPCをしっかりガードします。

> **本製品には 90 日間無料版が搭載されています。**
> **お客様の大切なパソコンや個人情報を守るためにぜひご利用ください。**
> **ご利用にはユーザー登録が必要です。**

ユーザー登録の手順

下記の手順に従い、ユーザー登録をしてください。

- マカフィー製品をご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録をしないと、製品を最新の状態に保つためのサービスやマカフィーのテクニカルサポートを受けることが出来ません。
- 登録画面が表示されない場合は、通知領域の M アイコンを右クリックして、[製品のセットアップ] をクリックしてください。

【登録の手順】

必要項目を入力後、使用承諾契約書の内容を確認し、「同意する」をクリックします。
「次へ」をクリックし、登録は完了です。

ご注意	登録完了後、アクティブ化処理が必要です。 ご登録のメールアドレス宛にマカフィーからメールが届きますので、メールに記載されたURLをクリックし、アドレスの確認を行って下さい。

マカフィーのここがスゴイ!

世界No.1※のウイルス検出率

第三者機関によるウイルス検出率のテストでは第一位を獲得。「マカフィー以上の製品は存在しない!」と大絶賛された世界一高性能なマカフィーをぜひお試しください。

※ComputerBild発行番号18～23/2009

パソコンの動作が速い

パフォーマンスが大幅に向上。パソコン動作のストレスが一切ありません。使ってみれば、世界の有名なパソコンメーカーに採用される理由がわかります。

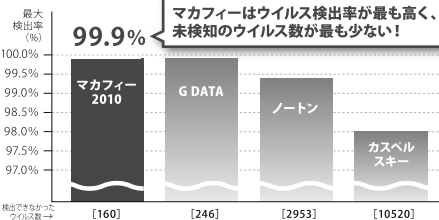
365日夜9時まで無料サポート

マカフィーは年中無休で朝9時から夜9時までのロングサポート。しかも、国内サポートなので安心です。

※通話・通信料はお客様のご負担となります。

インターネットの脅威からPCを守りたい！

最新テクノロジー（アクティブプロテクション）でウイルス検出率No.1[※1]を実現

●ウイルス（マルウェア）検出率

※1：ComputerBild 発行番号19/2009

通常の定義ファイルチェックのほかに、マルウェア情報を収録するマカフィーのデータベースへ瞬時にアクセスし、オンライン上で最新情報をチェックします。

※2：2008年10月当社調べ

定義ファイル未対応の新種マルウェアも0.1秒で検知！

他 社 ▸▸▸ 定義ファイルの配信間隔が長いほど、ウイルスに感染する可能性大！

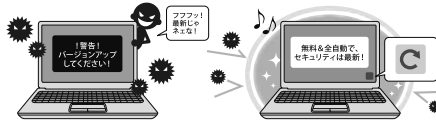
①ユーザーが電子メールまたはウェブから新しいファイルを受信
②ローカルにある定義ファイル情報を確認
定義ファイル情報がない場合、ウイルスに感染したファイルでも「安全」と判断される可能性があり危険。

◎マルウェアとは？…ウイルスやワーム、スパイウェアなど、悪意のあるソフトウェアを総称して「マルウェア」と呼びます。「不正ソフトウェア」とも呼ばれます。Eメールやセキュリティホールなどを利用してPCに侵入し、おかしな画面を表示させたり、ファイルを破壊したり、個人情報を流出させるなどの悪事を働きます。

面倒なインストール作業はおまかせしたい！

最新のセキュリティに全自動バージョンアップ

マカフィーには煩わしいインストール作業がありません。

他 社

他社で自動化されているのは、定義ファイルやバグ修正などの小さなアップデートのみ。大幅な機能追加やバージョンアップを行うには、手動のインストール作業が必要です。いつまでも古いバージョンを使い続けるユーザーが多数います。

マカフィー

マカフィーは大幅なバージョンアップであっても全自動でプログラムをアップデート。面倒なインストール作業は必要ありません。本当に手間をかけずに、常に最新機能を利用できるのはマカフィーだけです。もちろんアップグレードは無料です。

困った時にはどうすればいいの？

365日朝9時～夜9時まで無料サポート

マカフィー・テクニカルサポートは国内で年中無休で朝9時～夜9時まチャット、電話に加え、ウェブのFAQやメールで、お客さまのライフスイルに合わせてサポートします。

※通信・通話料はお客様のご負担となります。

実績や信頼性はどれくらいあるの？

権威ある賞を全世界で受賞

「PC Advisor, UK」2007年12月 ※4

「Mikkrobitti, Finland」2008年2月 ※4

「PC For Alla, Sweden」2007年12月 ※4

「Webuser, UK」2008年12月 ※5

「PCNews, Austria」2008年12月 ※5

「Alt om Data, Denmark」2009年3月 ※6

「AV-Comparatives, Germany」2009年2月 ※6

「ComputerShopper, UK」2009年2月 ※6

※4：マカフィー・トータルプロテクション 2008で受賞　※5：マカフィー・インターネットセキュリティ 2009で受賞
※6：マカフィー・ウイルススキャン 2009 で受賞　その他、受賞多数！

サポートセンターのご案内

<ユーザ登録や登録情報に関するお問い合わせ>
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
TEL：0570-030-088
03-5428-1792（IPフォンなどでナビダイヤルが利用できないお客様）
（月～金 9:00～17:00/ 祝祭日を除く）

<インストールや使用中のトラブルに関するお問い合わせ>
マカフィー・テクニカルサポートセンター
TEL：0570-060-033
03-5428-2279（IPフォンなどでナビダイヤルが利用できないお客様）
（年中無休 9:00～21:00）

共通URL　http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter.asp
※通話料はお客様ご負担になりますので予めご了承下さい。

期限が切れた時のご利用継続方法

1. 期限が切れると、セキュリティ機能が無効になり、右図1のようなアラートが画面に表示されます。
「保護の状態を確認」をクリックしてください。
2. 右図2のようにポップアップが表示されますので、「契約の更新」をクリックして更新(有償)を行ってください。

マカフィー株式会社　〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂 1-12-1　渋谷マークシティ ウェスト　20階

McAfee、マカフィーは米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。